工　事　仕　様　書

工事名称　　西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）

工事場所　　三原市西宮二丁目

工事内容　　本工事は、西小学校校舎の長寿命化改修に伴い、機械設備の改修工事を行う。

【工事概要】
給水設備改修工事
排水設備改修工事
換気設備改修工事

準　　則　公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事編・機械設備工事編)、建築物解体工事共通仕様書　（各 令和４年版　国土交通省官房官庁営繕部監修）に基づき施工する。

別途工事　・西小学校長寿命化改修工事（建築主体工事）
・西小学校長寿命化改修工事（電気設備工事）

支払条件等　前払金及び中間前金払・部分払等の支払について、令和6年度は契約金額の10分の4以内の額とする。

関係法令等　本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。
・建築基準法、同施行令、同施行規則
・消防法、同施行令
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律、同法施行令、同法施行規則
・労働安全衛生法、同法施行令、同法施行規則
・建設業法、同施行令、同施行規則
・建設工事公衆災害防止対策要綱
・石綿障害予防規則
・大気汚染防止法、振動規制法及び土壌汚染対策法
・建設工事に係る再資源化等に関する法律、同法施行令
・その他関係法令

疑義変更　本設計図書は、設計の大要を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。
別途工事の設計図書について、取り合いなどの整合を確認すること。
施工に際して疑義が生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議後、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。

提出書類　施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。
商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けること。
設計図書に定める品質及び性能を有することについて、証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けること。

工　　期　本工事は請負契約締結の後、令和8年2月26日をもって工期とする。
このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

留意事項

・入札に先立ち、現地調査を十分に行うこと。質疑がある場合は入札前に確認すること。
・図面について、設計者からの設計意図等の説明が必要な場合は申し出ること。
・図面に明示されていない事項であっても、工事上必要とされる事は工事範囲とする。
・作業日は、原則、月曜日から金曜日とし、土曜日及び日曜日は休工日とすること。
・行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
・本工事は「発注者指定型」による週休２日工事等の対象工事であり、実施にあたっては「三原市週休２日工事等実施要領」（令和６年４月１日制定）に基づき実施するものとする。
・工事着手前までに「週休２日工事」または「週休２日交代制工事」に取り組むことを工事打合せ簿にて提出すること。
・「週休２日工事」または「週休２日交代制工事」である旨を工事現場に設置すること。
・週休２日を達成できなくなった場合は、その達成状況に応じて労務費の補正額を減額する。
・デジタル化を積極的に推進すること。
・本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて教諭、児童等の通路の通行制限を行うこととする。
・著しい騒音・振動等の発生が予想される作業については、学校の授業時間等の時間を避けるなど配慮して作業をするように計画すること。
・工事の詳細については、事前に学校へ説明を行い、承諾を得ること。
・着手にあたり、工事着手前の周辺道路や近隣敷地の状況を写真等により記録しておくこと。
・近隣住民等の安全はもとより、丁寧な説明と施工により、関係者の理解と協力を得ながら実施すること。苦情等が発生した場合には誠意をもってこれに対応すること。
・工事関係者等の作業に関わる全員については、周辺住民への心遣いとして挨拶を徹底すること。
・近隣において、その他の工事が行われている場合は、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
・近隣住民等への支障を最小限とするため、騒音・振動・粉塵等の対策については最大限配慮した施工方法を採用すること。
・使用する建設機械については、原則、「低騒音型、低振動型建設機械」として国土交通省の指定を受けた機械を選定して使用すること。これが確認できる資料を施工計画書で示すこと。なお、事情により使用が難しい場合は監督員との協議を行うこと。
・解体工事・アンカー工事等の騒音・振動・粉じん等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等を最大限配慮した計画により作業を行うこと。
・粉塵の発生が予想される工事は、確実に散水を行う等して、周辺環境への粉塵飛散がないように作業をすること。
・施工箇所周囲の備品・機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実に行うこと。養生や移動を行う場合は、事前に学校へ説明を行い、了承を得ること。
・近隣家屋・敷地または周辺道路に対して、工事による汚れ・損傷・粉じん等を与えた場合は、受注者が責任をもって、速やかに清掃及び補修等を行うこと。誠意をもって対応し、原状復旧に努めること。
・周辺道路の保全及び清掃については常に注意を払って監視をし、定期的に清掃を行うこと。
・第三者災害防止及び飛散防止対策のために、必要に応じて監督員が指示する範囲にバリケード等を設置すること。
・工事車両の通行については、近隣住民及び通学児童等の安全を最優先すること。
・工事車両は、幅員の広い道路の通行を基本とし、住宅地内などの狭い道を抜け道として使用しないこと。工事車両の周辺の通行経路については、工事着手前に発注者の了承を得ること。
・大型車両の搬出入の有無については、工事着手前に発注者と確認すること。
・工事車両は、場内を5ｋｍ/ｈ以下で徐行すること。
・工事区域内の残置する設備配管・配線等については、事前に位置を確認してから作業を行うこと。事前調査記録を作成すること。
・受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
・図面等に示されている仮設等についても、必ず受注者で安全性や施工性等を検証すること。受注者が責任をもって施工すること。
・台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
・工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
・工事の要求に必要な仮設は、工事に含むものとする。
・設備機器の固定については、「建築設備耐震設計・施工指針２０１４年版」の基準に基づいて検討し、監督員と協議の上、施工すること。

・工事に伴う官公庁等への手続きは、受注者により遅滞なく行うこと。この時、各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
・施工にあたり、既設天井及び壁面等を加工する必要が生じる場合は、監督員と協議の上、石綿含有建材の調査を実施すること。
・石綿含有建材の調査（書面及び目視調査、検体採取を含む）について、工事着手前までに一般建築物石綿含有建材調査者、又は特定建築物石綿含有建材調査者が行うこと。
・工事着手前までに石綿含有建材の事前調査結果を書面にまとめて発注者に対し説明を行い、労働基準監督署及び所轄官庁へ報告すること。
・その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和３年４月１日施行）に基づくこと。
・石綿含有分析調査は試料採取と分析調査費を含む。分析は定性及び定量（JIS A 1481-1及びJIS A 1481-3による。含有の場合は、含有する層の判定も行う。）について3検体を見込んでいる。
・石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル(最新版)に基づくこと。
・工程計画、取り合い工事及び工事用車両の出入り等については、当該別途契約の工事関係者と互いに協力し合い、相互の工事を考慮した上で十分調整し、工事の円滑な施工に務めること。
・足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地等は、建築主体工事に見込んでいるが、別途工事業者も使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
・本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、三原市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ理由を添えて発注者の承認を受けること。
・広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
・工事書類については、工事中情報共有システムの決裁データ等を整理して、CD-R又はDVD-Rにて提出すること。
・書面での提出が必要なもの（完成図書、建退共の掛金収納書、試験結果、保証書 等）については、PDFを工事中情報共有システムで提出し、別に書面提出ファイルとしてまとめて提出すること。
・工事完了後、完成図として製本図面（二つ折り・A3版）を1部、及び縮小図面（二つ折り・A4版）を4部提出すること。
・以下の設計図面は、A2判をA3判に縮小している。（縮小率約70.7%）

西小学校長寿命化改修工事
（機械設備工事）

図　番	図　面　名　称	縮　尺
［機械設備図］		
M-００	表紙・図面リスト	ー
M-０１	機械設備工事特記仕様書（一般共通事項）	ー
M-０２	特記仕様書（機械2）	ー
M-０３	工事区分表	ー
M-０４	付近見取図・配置図	1/2,500、1/500
M-０５	管理・特別教室棟　衛生器具表（新設・撤去）	ー
M-０６	管理・特別教室棟　給排水設備１階平面図（改修後）	1/100
M-０７	管理・特別教室棟　給排水設備２階平面図（改修後）	1/100
M-０８	管理・特別教室棟　給排水設備３階平面図（改修後）	1/100
M-０９	管理・特別教室棟　給排水設備Ｒ階平面図（改修後）	1/100
M-１０	管理・特別教室棟　給排水設備１階平面図（改修前）	1/100
M-１１	管理・特別教室棟　給排水設備２階平面図（改修前）	1/100
M-１２	管理・特別教室棟　給排水設備３階平面図（改修前）	1/100
M-１３	管理・特別教室棟　給排水設備Ｒ階平面図（改修前）	1/100
M-１４	管理・特別教室棟　受水槽　平面・断面詳細図	1/50
M-１５	管理・特別教室棟　給水設備　仮設計画図（１）	1/100
M-１６	管理・特別教室棟　給水設備　仮設計画図（２）	1/100
M-１７	管理・特別教室棟　空調機器表（既存）・換気機器表（新設・撤去）	ー
M-１８	管理・特別教室棟　空気調和設備・換気設備１階平面図（改修後）	1/100
M-１９	管理・特別教室棟　空気調和設備・換気設備２階平面図（改修後）	1/100
M-２０	管理・特別教室棟　空気調和設備・換気設備３階平面図（改修後）	1/100
M-２１	管理・特別教室棟　空気調和設備・換気設備１階平面図（改修前）	1/100
M-２２	管理・特別教室棟　空気調和設備・換気設備２階平面図（改修前）	1/100
M-２３	管理・特別教室棟　空気調和設備・換気設備３階平面図（改修前）	1/100
M-２４	管理・特別教室棟　揚重計画図	1/100

設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名･建築士登録番号･氏名	図面名称・縮尺　ー (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	表紙・図面リスト	M-00

西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）　特記仕様書

Ⅰ．工　事　概　要

1．工　事　場　所　　三原市西宮二丁目

2．建　物　概　要

建物名称	構造	階数	建築基準法による延べ面積（㎡）	消防法施行令別表第一の区分	備考
屋内運動場	ＳＲＣ造	2階建て	1,017.57		
管理・特別教室棟	ＲＣ造	3階建て	1,268.03		

3．工　事　種　目　　（・印の付いたものを適用する）

工事種目 ＼ 建物別及び屋外	工事種別				
	管理・特別教室棟				
・空気調和設備					
・換気設備	○				
・排煙設備					
・自動制御設備					
・衛生器具設備					
・給水設備	○				
・排水設備					
・給湯設備	○				
・消火設備					
・ガス設備					
・厨房設備					
・浄化槽設備					
・雨水利用設備					
・特殊ガス設備					
・電気設備工事	電気設備工事の部による				
・建築工事	建築工事の部による				

4．指定部分　　※ 無し　・有り（工期　令和　年　月　日）

対象部分：

5．設備概要（改修の場合は既存の概要を示す。）

空調設備	空気調和方式等	・空気調和（・パッケージ方式　・ガスエンジンヒートポンプ方式 ・ファンコイルユニット・ダクト併用方式 ・単一ダクト方式　・各階ユニット方式）
	主要熱源機器	・空気熱源ヒートポンプユニット　・マルチパッケージ形空気調和機 ・パッケージ形空気調和機　・ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機 ・チリングユニット　・吸収冷温水機　・吸収冷温水機ユニット ・鋼製ボイラー　・鋳鉄製ボイラー ・温水発生機（・真空式　・無圧式）
換気設備		・１種換気　・２種換気　⊙３種換気
排煙設備		・機械排煙（・有　・無）　適用法規（・建基法　・消防法）
自動制御設備		・自動制御方式（・電気式　・電子式　・デジタル式）
衛生設備	給水方式	・水道直結　⊙高置タンク　・ポンプ直送　・水道直結増圧
	排水方式	建物内の汚水と雑排水（・合流　⊙分流） ポンプ排水　・有（・汚水　・雑排水　・湧水）　⊙無
	放流先 汚水	⊙直放流下水管　・浄化槽
	放流先 雑排水	⊙直放流下水管　・浄化槽　・側溝　・別途桝
	放流先 排水槽	・有（計画容量：　　m3）　⊙無
	給湯設備	⊙有（⊙局所式　・中央式）　・無 熱源（・電気　・都市ガス　⊙液化石油ガス　・灯油　・Ａ重油）
	消火設備	・屋内消火栓　・連結送水管　・屋外消火栓　・スプリンクラー ・消防用水　・泡消火　・連結散水装置　・粉末消火装置 ・不活性ガス消火（・窒素　・　　）　・ハロゲン化物消火 ・フード等用簡易自動消火装置　・無
	ガス設備	・都市ガス　種別　（　　ＭＪ／m3N）　・液化石油ガス
	浄化槽設備	・有（・合併処理　・小規模合併処理　・　　）　⊙無

Ⅱ．工　事　仕　様

1．共　通　仕　様

1）特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の標準仕様書等による。ただし、・印の付いたものを適用する。

・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和４年版（以下「標準仕様書」という。）

・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）令和４年版（以下「改修標準仕様書」という。）

・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）令和４年版　（以下「標準図」という。）

2）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。

2．特　記　仕　様

1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2）特記事項のうち選択する事項は・印の付いたものを適用する。

ただし、・印のない場合は　※　印を適用する。

・印　※印の場合は共に適用する。

区分	項目	特記事項
一般共通事項	① 施工図等	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	2．保安規定	中国地方整備局制定の営繕工事事業用工作物電気保安規程を（・適用　・準用）する。
	② 施工条件	現場説明書による。
	③ 工事安全計画書	建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事現場の安全対策に関する具体的な工事安全計画書を、監督職員に提出する。
	④ 発生材の処理等 ※54．建設廃棄物の処理も確認すること	引渡しを要するもの　・有（・機器類　・金属類　・　　） ※ 無 特別管理産業廃棄物　※ 無 ・有（・配管用保温材　・　　） 再生資源化を図るもの　※ 無 ・有（・　　・　　）
	⑤ 施工方法	アスベスト含有設備資機材（ガスケット、パッキン、たわみ継手等）は関係法令に従い適切に処理を行う。引渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とする。 撤去機材等（アスベスト類を含む）の搬出・処分費 ※ 本工事　・別途工事 フロン、臭化リチウム液、残油処理の搬出・処分費 ※ 本工事　・別途工事
	⑥ 環境への配慮	1）国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。 2）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	7．機材の品質等	1）本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2）別表－１に示す機材等を使用する場合は次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は、証明となる資料等の提出を省略することができる。 ① 品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ② 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③ 安定的な供給が可能であること。 ④ 法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤ 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥ 販売、保守等の営業体制を整えていること。
	⑧ 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集（令和４年版）によるほか、監督員の指示による。
	9．図形表示	機器類は、図示する形状及び配管等の取出し位置により、特定製造者の製品を指示、限定しない。
	10．容量等の表示	1）機器類の能力、容量等は原則として表示された値以上とする。 2）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された値以下とする。
	11．技能士の適用	・建築板金（ダクト製作及び取付）　・熱絶縁施工（保温工事） ・配管（配管工事）　・冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器据付）
	12．化学物質の濃度測定	建築物の室内空気中に含まれる化学物質の濃度測定　※ 不要　・要 測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等は（※ 現場説明書　・　　）による。
	13．インバーター用制御及び操作盤	（※ 標準仕様書　・図示 ）による。 「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン（平成１６年１月制定　原子力安全・保安院）」及び「高調波抑制対策技術指針（ＪＥＡＧ９７０２－２０１３）」に基づき、高調波対策を行う。
	14．総合試運転調整	下記項目の総合調整を行ない測定表を監督職員に提出する。（　部） ・風量調整　・水量調整　・室内外空気の温湿度の測定 ・室内気流及びじんあいの測定　・騒音の測定 ・飲料水の水質の測定　・雑用水の水質の測定　・ 測定箇所等は監督職員との協議による。
	⑮ 弁類	ステンレス管に使用するバルブは５０Ａ以下は青銅製、６５Ａ以上はステンレス製を使用する。
	⑯ 伸縮管継手	※ ベローズ形　・スリーブ形
	⑰ 防振継手	※ 合成ゴム製（球形）　・ポリテトラフルオロエチレン製 ・ベローズ形（ステンレス製）
	18．絶縁継手	※ 標準図（施工３）による。
	19．スリーブ	つば付き鋼管製に替えて、非加硫ブチルゴム系止水材でもよい。
	20．瞬間流量計	1）形式はピトー管式（コック付）とする。　※ 固定式 2）下記の箇所、差しくは図示により取付ける。 ・ボイラー又は熱交換器の温水出口　・冷凍機類の冷水出口 ・冷温水ヘッダーの各送り管　・冷凍機類の冷却水出口 ・ユニット形空気調和機の冷温水入口
	21．配管の建物導入部	（・給水　・ガス　・油 ）配管の変位吸収は （※ 標準図（施工４．５）　・図示 ）による。
	22．ステンレス鋼管の接合方法	呼径６０Ｓｕ以下の継手は、ＳＡＳ３２２を満足するものとする。
	㉓ ビニル管の接合方法	※ 接着接合　・ゴム輪接合
	24．ポリエチレン管の接合方法	５０Ａ以下　※ メカニカル接合　・電気融着接合 ７５Ａ以上　※ 電気融着接合
	25．溶接配管の検査	・ガス配管　・冷温水配管　・冷却水配管 非破壊検査　※ 無　・浸透探傷検査又は磁粉探傷検査 ・放射線透過検査 抜取率は　・標準仕様書による　・　　％
	26．異種管の接続	鋼管とステンレス鋼管、鋼管と鋼管は（※ 標準図　・図示 ）による。
	27．支持金物・固定金具	ポンプ及び屋外設置機器・ピット内のアンカーボルト、ナットはステンレス（ＳＵＳ３０４）製とし、屋外及びピット内の配管、ダクトに使用する支持金物等はステンレス（ＳＵＳ３０４）製又は、溶融亜鉛めっき仕上げとする。 溶融亜鉛めっきは　※ ２種３５　・２種５０
	28．埋設表示	標準仕様書によるほか図示の箇所に設ける。
	㉙ 保温	1）屋内露出（一般居室、廊下）の外装は　※ Ａ１　・Ａ２ 2）冷媒管の保温外装は 屋内露出　・合成樹脂カバー（Ａ１･(イ・ロ)･Ｖ１） ・保温化粧ケース（耐候性樹脂製） 屋外露出　・ステンレス鋼板（Ｅ２･(イ・ロ)･Ｖ１） ・保温化粧ケース 屋外保温化粧ケースの材質　・耐候性樹脂　・ステンレス鋼板 ・高耐食鋼板（溶融亜鉛めっき） 3）標準仕様書以外で多湿箇所の適用 （※ 無　・　　）とする。 4）全熱交換器の機器外気側ダクト （※ 給気側　・排気側外壁より　1ｍ ）は、保温（２５mm厚）する。 5）厨房用排気ダクトの断熱（隠ぺい部） ・Ｉ･(イ)･ＤＸ　又は　ｈ･(イ)･ＤＸ　・行わない。 6）共同溝の保温種別は　（配管　：・ ダクト：・　　）とする。
	30．塗装	下記の部分を除き、原則として塗装（標準仕様書第２編３．２による）を行う。 亜鉛めっきされたもので、常時隠ぺいされる部分、金属電線管、鋼製架台及び支持金物類、主・各階機械室内等及び電気室内の亜鉛めっきされた露出ダクト及び露出配管、カラー亜鉛鉄板面、亜鉛めっき以外のめっき仕上げ面、樹脂コーティング等を施したもので、常時隠ぺいされる部分アルミニウム、ステンレス、銅、溶融アルミニウム－亜鉛鉄板、合成樹脂製等、特に塗装の必要を認められない面、埋設されるもの。 （ただし、防食塗装部分を除く） 塗装を施さない部分・箇所　※ 倉庫　・車庫　・駐車場 ただし、残りネジ部及びパイプレンチのチャック跡部の鉄面は、さび止めペイント２回塗りを行う。
	31．足場	「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置にあたっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の（２）手すり据置き方式又は（３）手すり先行専用足場方式により行う。 ・内部足場（※ Ａ、Ｂ、Ｃ、Ｄ種　・Ｅ種　・Ｆ種　・Ｇ種 ） ・外部足場（※ Ｄ、Ｅ種　・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｆ種 ）
	㉜ 工事用電力、水、その他	本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は全て受注者の負担とする。
	33．監督職員事務所	本工事で設置する。（規模及び仕上げの程度は現場説明書による）
	34．工事用仮設物	構内につくることが　※ できる　・できない
	35．土工事	1）埋戻し土は　※ 根切り土の中の良質土 （コンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類 2）建設発生土は　※ 構内敷きならし　・構内の指示める場所に堆積 ・構外に搬出し適切に処理（現場説明書）
	36．コンクリート工事	コンクリートの設計基準強度は　※ １８Ｎ／ｍｍ２以上 ・図示による。
	㊲ 耐震措置	設備機器の固定は、次に示す設計用地震力に耐える方法とする。 ただし、重量1kN以下の軽量な機器については、設備機器の製造者の指定する方法で確実に行えばよいものとする。 1）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、 地域係数（・１．０　※ ０．９　・０．８ ）と、 次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 ・特定の施設　・一般の施設 設計用標準水平震度 設置場所 / 機器種別 / 重要機器 / 一般機器 / 重要機器 / 一般機器 上層階 屋上及び塔屋 / 機器 / ２．０ / １．５ / １．５ / １．０ 上層階 屋上及び塔屋 / 防振設置機器 / ２．０ / ２．０ / ２．０ / １．５ 上層階 屋上及び塔屋 / 水槽類 / ２．０ / １．５ / １．５ / １．０ 中間階 / 機器 / １．５ / １．０ / １．０ / ０．６ 中間階 / 防振設置機器 / １．５ / １．５ / １．５ / １．０ 中間階 / 水槽類 / １．５ / １．０ / １．０ / ０．６ 地階・１階 / 機器 / １．０ / ０．６ / ０．６ / ０．４ 地階・１階 / 防振設置機器 / １．０ / １．０ / １．０ / ０．６ 地階・１階 / 水槽類 / １．５ / １．０ / １．０ / ０．６ 上層階とは２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、１０～１２階建の場合は上層３、１３階建以上の場合は上層４階とする。 中間階とは地階、１階を除く各階で上層階に該当しないもの。 重要機器は次のものを示す。 ・給水機器（　　） ・排水機器（　　） ・換気機器　・空調機器　・熱源機器　・防災機器 ・監視制御設備　・危険物貯蔵装置　・火を使用する設備 ・避難経路上に設置する機器 2）設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の１／２とする。
	㊳ 電線類	1）ＥＭ電線類で規格等の定めのないものは、ハロゲン及び鉛を含まない材料で構成されたものとし、電線及びＥＭケーブルは標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による。 2）電線の色別は、原則として電気設備工事の工事仕様書による。
	39．施工調査	・施工に先立ち、改修工事関連部分（施工部位により既存性能を損なうおそれのある部分）の事前確認を行い監督職員に報告書を提出する。 ・既存設備システムの事前調査を行い監督職員に報告書を提出する。調査を行う前に監督職員に調査計画書を提出する。 改修工事の対象となる既存設備システム ・排水放流先　・中央監視盤　・
	㊵ 撤去工事	撤去する配管、ダクト（付属品含む）の保温材は、配管・ダクト等より分離する。
	㊶ あと施工アンカー	施工後確認試験 試験方法　引張試験機による引張り試験 試験箇所数　１施工単位に対し３本以上 対象機器（・配電盤　・非常用発電機　・直流電源装置　・変圧器　・受水槽） 確認強度　対象機器ごとのアンカーボルト１本に作用する引抜きり以上
	㊷ 非破壊検査	はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、本書により非破壊検査を行い、監督職員に報告する。原則、探査方法は走査式埋設物調査（電磁誘導法または電磁波レーダ法）とする。 放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査の検査費は別途とする。
	㊸ 他工事との取合い	図面に特記のない場合は別紙「工事区分表」による。 電気設備工事、建築工事等との合併工事の場合は工種区分とする。
	44．天井仕上区分	（　）書きの室名は天井無しを示し、その他は天井ありを示す。
	㊺ 完成時の提出書類等	（1）工事竣工図書引渡し書　Ａ４版　部 （2）完成図書（Ａ４版）　１部 （3）諸官庁届出書類一覧表（諸官庁届出書類(正)許可証(正)共）　１部 （4）完成図面・施工図面二折製本　Ａ３版　１部 （5）縮小完成図面・施工図面二折製本　Ａ４版　４部 （6）工事記録写真　Ａ４版（工事記録写真カラーサービス版）　１部 （完成写真カラーサービス版）　２部 （7）運転操作説明書・取扱説明書を簡易にまとめたもの　Ａ４版製本　１部 （8）工事整理図書　Ａ４版　部 （9）電子成果品（電子納品）　部 （10）建物基本情報及び型式台帳(監督員が指定する様式で作成)　部 （11）その他監督員が必要と指示したもの(フロン台帳等)　１式
	46．電子納品	電子成果品を「営繕工事電子納品要領（以下、要領という）に基づき作成する。 ※電子納品対象データは同要領に基づくが、変更がある場合は監督職員との協議で決定する。
	㊼ 工事中情報共有システム	（1）本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。 （2）本工事で使用する情報共有システムは次とする。 広島県工事中情報共有システム https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html （3）監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。 （4）受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。
	㊽ 工事実績情報の登録	標準仕様書第１編1.1.4に基づいて適切に行うこと。
	㊾ 施工計画書	工事の着手に先立ち、現場の体制･組織、仮設計画、安全衛生管理、緊急時の連絡、災害予防その他の現場運営に必要な計画を定めた「総合施工計画書」を作成し提出する。 また各種別の工事の施工にあたっては「工種別施工計画書」を作成する。 約款第１１条に規定する工事履行報告書は、営繕課で示す様式「期間別工事工程報告書」で、工程写真、状況写真を添付して月２回提出する。
	㊿ 履行報告	（1）本工事で発生した建設廃棄物は、広島県（環境県民局）及び保健所設置政令市等（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設（許可対象とならない中間処理施設にあっては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設）で処理すること。ただし、建設廃棄物が、破砕等（選別を含む）により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。（原則、県内処分） （2）本工事における再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、前記（1）に掲げる施設のうち受入れ条件が合うものの中から、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。 （3）本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。なお、本工事では、広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。
	52．優先順位	設計図書の優先順位は次の順序とする。 ①技術的説明事項（追加説明、質問回答書を含む） ②特記仕様書　③設計図面　④標準仕様書・標準図
	53．官公署その他への手続き等	官公署その他への手続きは、受注者が速やかに行い、これに要する費用は、すべて受注者の負担とする。また関係法令に基づく官公署その他関係機関の検査において、その検査に必要な資機材及び労務を提供し、これに直接要する費用を受注者が負担する。
	54．別契約の関係工事との協調	建築、電気その他別契約の関係工事について、工程及び、取合部分の施工に関し、常に緊密に連絡し、工事の円滑な進捗を図るものとする。
	55．調査への対応	工事中及び竣工後、下記に示す調査を行うため発注者より連絡があれば対応すること。 ①公共事業労務費調査…工事中に実施 （調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等） ②契約不適合調査…建設工事請負契約約款第４６条の５に定める期間内
	56．工事現場の表示	現場の見やすい位置に監督職員が指示する次の表示板を設置する。 ※　工事名等の表示板（900mm×600mm）　・工事概要等の説明看板（900mm×600mm） ＿＿＿＿＿＿作業期間、交通誘導員を＿＿＿＿（人／日）配置すること。
	57．交通誘導員	・説明書（監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の取扱要領を記載した説明書等を作成する。）
	58．説明板等	・説明板（監督職員と協議の上、設備機器類及び一連の装置等の系統図、取扱要領を記載した説明板を作成する。）
	㊾ 工事中の補償	地上物件、地中埋設物等で本工事に起因して損傷した場合は、速やかに補修し、完全に復元するものとする。
	㊿ 工事後の補償	工事完成引渡後、施工または機器、材料の不備による故障は、約款第４１条（契約不適合）により１年間受注者の負担で完全に補修するものとする。
	61．完成引渡しまでの管理	工事完了後も予め監督職員の指示した日時までは受注者で管理し、各種公課に対する料金及び各種の被害（火災、盗難、破損等）は一切受注者の負担とする。
	62．快適トイレモデル工事	本工事は快適トイレモデル工事（・発注者指定型　・受注者希望型）であり、「快適トイレモデル工事試行要領（令和４年６月１日一部改正）」に基づき実施するものとする。 快適トイレチェックシートの様式は、「広島県の調達情報」の「様式集＞建設工事関係_その他の契約関係の様式」に掲載している。 また、完成検査までに提出するアンケートは、「広島県の調達情報」の「入札・契約制度＞入札・契約制度関係要綱」に掲載している。

別表－1

品目	機材名	
ボイラー	鋳鉄製温水ボイラー　鋼製鋳ボイラー　鋼製小型ボイラー　鋼製ボイラー	
温水発生機	真空式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）　無圧式温水発生機（鋼製・鋳鉄製）	
冷凍機	チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット　吸収冷温水機	
冷却塔	冷却塔	吸収冷温水機ユニット　遠心冷凍機
空気調和機	ユニット形空気調和機　ファンコイルユニット及びカセット形ファンコイルユニット コンパクト形空気調和機　パッケージ形空気調和機　マルチパッケージ形空気調和機 ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機	
空気清浄装置	エアフィルター（パネル形・折込み形）　自動巻取形エアフィルター　電気集じん器	
全熱交換器	全熱交換器（回転形・静止形）	

品目	機材名	
送風機	遠心送風機（多翼形送風機）　斜流送風機　軸流送風機　消音ボックス付送風機	
ポンプ	横形遠心ポンプ　水中モーターポンプ（汚水用、雑排水用、汚物用）	
ダクト付属品	風量ユニット（定風量、変風量）	空形遠心ポンプ
自動制御	自動制御システム	
衛生器具	衛生器具ユニット	
タンク	ＦＲＰ製パネルタンク　密閉形隔膜式膨張タンク（空調用・給湯用） ステンレス鋼板製パネルタンク（溶接組立形・ボルト組立形）	
消火装置	スプリンクラー消火システム　不活性ガス消火システム　泡消火システム	
厨房機器	厨房システム　ハロゲン化物消火システム	
排水設備	マンホールふた・弁桝ふた	

設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺	図番
令和5年2月　三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	（A3版−71%縮小） 機械設備工事特記仕様書（一般共通事項）	M-01

空気調和・換気設備

1．設計用温湿度条件

	外気条件		室内（調整目標値）			
			一般系統			
	温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度	温度（DB）	湿度
夏季	３４．９℃	５１．０%	２８．０℃	５０%	℃	%
冬季	－０．２℃	６９．９%	１９．０℃	４０%	℃	%

2．配管材料

※重複して適用の場合の使用区分は図示による

1）冷水・温水・冷温水　・配管用炭素鋼鋼管（白管）
2）膨張・空気抜・補給水・配管用炭素鋼鋼管（白管）
3）冷却水　・配管用炭素鋼鋼管（白管）
4）蒸気給気　・配管用炭素鋼鋼管（黒管）
5）蒸気還水　・圧力配管用炭素鋼鋼管（ＳＴＰＧ３７０Sch40）
6）油・油用通気　・配管用炭素鋼鋼管（黒管）
7）冷媒　・断熱材被覆銅管
8）空調用給水　・ステンレス鋼管（ＳＵＳ３０４）
9）空調用排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)・結露防止層付硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管

3．弁類

図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋとする。

4．空調機用トラップ

トラップの形式はフロートボール式（床置型）　※ＦＲＰ製保温型

5．鋼板製煙道

1）厚さ　※３．２mm　・４．５mm
2）ばい煙濃度計　・取付ける　・取付けない
　・取付座を取付ける
3）ばいじん量測定口（８０φ×２）　※取付ける　・取付けない
4）伸縮継手及び排除口は図示による。

6．ばい煙濃度計

投光器及び受光器は、送風器付きとする。

7．冷却塔

標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。

8．ユニット形空気調和機

コイル通過後のケーシングに講じる表面結露対策は
※不要　・図示による。
風量３０，０００m3／hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。

9．ファンコイルユニット

冷温水管の接続部（往・還）にはボール弁を取付ける。
※ 流量調整弁　・定流量弁　を取付ける。
（ 定流量弁の場合は　・ダイヤフラム式流量可変式
　・カートリッジオリフィス形 ）
床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。

10．パッケージ形空気調和機

インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。

11．マルチパッケージ形空気調和機

内外渡配線は、原則として冷媒管と共巻きとする。（エアコン含む）
パッケージ形空気調和機の記載による。

12．集中管理リモコン・個別リモコン

集中管理リモコンの機能は、
※ 標準仕様書に記載されている機能
・外部信号を受け一括停止機能　・図示する機能
・エネルギーの管理に関する機能（外部記憶媒体への出力機能含）
リモコンの系統区分は図示による。

13．空気清浄装置

ろ材ユニットは（ ・再生式　・非再生式 ）とし、形式及び性能等は図示による。

~~14．オイルポンプ~~

形式　※渦流形　・歯車形

15．開放形膨張タンク

本体の材質　※鋼板製　・ステンレス鋼板製
鉄製はしご　※要　・不要

~~16．地下オイルタンク~~

1）据付方法は　※標準図（施工３２）（二重殻タンク）
　・標準図（施工３３）（タンク室有り）
2）保護被覆は　※ＦＲＰ　・エポキシ樹脂　・アスファルト
3）遠隔油量指示装置（液面計は（ ・抵抗変化式　・磁歪式 ）で
　（ ・屋内　・屋外 ）より油量監視用）を取付ける。
4）基礎杭は　※不要
　・要（但し杭は　※別途工事　・本工事 ）
5）土留めは工事は　※不要　・要（ ・本工事　・別途工事 ）
油面計はゲージ式（側圧式）とする。

~~17．オイルサービスタンク~~

18．ダクト

1）※低圧ダクト　・高圧１ダクト　・高圧２ダクト
2）長方形ダクトは　・コーナーボルト工法
　（共板フランジ又はスライドオンフランジ）
　（ただし、長辺が１５００mmを越えるものは
　アングルフランジ工法とする）
　・アングルフランジ工法
3）防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後１５０mmを
　１．６mm厚鋼板製とする。
4）厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。

19．チャンバー等

1）シーリングディフューザーの接続は標準図（施工４９）を参考とする。
2）接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。
3）線状吹出口には、長さ＋１００×３００×３００Hの接続チャンバーを設ける。
4）外壁に面するガラリにチャンバー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。

20．吹出口・吸込口のボックス

※ 亜鉛鉄板製　・グラスウール製

21．グリス除去装置

・グリスエクストラクター　・グリスフィルター

22．風量測定口

標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。
・ 空調機のサプライチャンバーからの分岐ダクト　・外気取入れダクト

23．温度計

標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。
・ 空気調和機、全熱交換器廻りの還気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト
機器付属以外の温度計は　※バイメタル式温度計
　・ガード付きＬ形温度計

24．圧力計

標準図によるほか図示した箇所に取付ける。

25．ダンパー

(1)防火ダンパーは表示等により区分する。
(2)防煙ダンパー　遠隔復帰式（定格入力はＤＣ２４Ｖ、０．７Ａ以下。）

26．定風量・変風量ユニット

・メカニカル形　・風速センサー形

27．冷温水管等のエア抜き

1）エア溜まりを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置（ ※手動　・自動 ）を設ける。
2）自動エア抜き弁装置は、標準図（施工３８（ｇ））による。
3）機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より２mとする。

28．消音内貼り

1）空調用の吹出口接続チャンバー及び図示したダクト並びにチャンバー類とする。
2）内貼りチャンバー類の寸法は、外法寸法とする。
3）吹出口接続チャンバー以外の内貼りしたチャンバーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として４００×６００とする。

29．機器用基礎

防振基礎の防振材及び振動絶縁効率は、標準仕様書および標準図によるほか、図示による。

30．空調用流体の水質基準

日本冷凍空調工業会（冷凍空調機器用水質ガイドライン）による。

31．フィルターの予備品

空気調和機器等又はﾌｨﾙﾀｰﾁｬﾝﾊﾞｰの装着枚数の１００%を予備品（枠付）として納める。
ｸﾘｰﾝｺﾝﾊﾞｰﾕﾆｯﾄは総台数の（ ・５０%・１００%　）に当たるﾌｨﾙﾀｰを予備品（枠付）として納める。
自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の１００%を予備品として納める。

排煙設備

1．ダクト

2．排煙口

※ 亜鉛鉄板製　・鋼板製（厚１．６mm）
・パネル形　（ ・天井取付　・壁取付 ）
・スリット形　（ ・天井取付　・壁取付 ）
・ダンパー形　（ ・天井内取付　・　　）

3．排煙口開放及び復帰方式

電気式（遠隔操作　※不要　・要 ）
排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第４編１．５．１表４．１．１１による耐熱・耐火ケーブルとする。

4．排煙風量測定

建築設備定期検査業務基準書２０１６年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

自動制御設備

1．システム構成・機能

図示による。

2．自動制御機器

調節器等の取付け高さは　※１３００mm　・

3．自動制御盤

屋内用キャビネットは　※鋼板製　・ステンレス鋼板製

4．中央監視制御装置

・ 有り（構成機能は図示による）　・無し

5．計装工事の配線

1）屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。
　天井隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。
2）原則として、次の用途に使用する電線類はＥＭケーブルとし、規格は一般共通事項１９．電線類の規格による。
　（機器、盤類はこれにならなくてもよい）
　用途：①電源線、接地線
　　②電気式の調節器（サーモ・ヒューミ等）用電線
　　③各種検出器（温度・湿度等）、操作器（バルブ・ダンパー等）における弱電信号、通信線を除く制御線

衛生器具設備

1．一般事項

型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。
~~大便器、小便器には、標記板（アクリル板に印刷可）を取付ける。~~
形式は（ ※小便器一体型　・小便器分離型 ）とする。
洗浄水量４リットル／回以下とする。

2．小便器用節水装置

※ 個別感知方式（ ※ＡＣ電源　・乾電池 ）　・手動式

3．自動水栓

電源種別は　※ＡＣ電源　・自己発電　・乾電池
肢体不自由者用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、
　※ 設ける　・設けない

4．大便器用洗浄弁

操作方式　・電気開閉式（ ・センサー式　・タッチスイッチ式 ）
　・手動式

5．温水洗浄便座

洗浄用水加温方式は（ ・瞬間方式　・貯湯方式 ）とし、付加機能は図示による。

6．器具と排水管接続

※ 標準図（施工６５）　・標準図（施工６６）

7．水栓

・ 水栓は節水コマ付きを採用する。　・ 水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。

給水設備

① 配管材料

※重複して適用の場合の使用区分は図示による

1）一般配管用　⊙水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-VB・FVB）
　・水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（HIVP）・架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
2）土間配管用　・水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管（SGP-VD・FVD）
　・水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（HIVP）・架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
3）地中配管用　⊙水道用硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管（HIVP）
　・水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管　・水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ二層管
4）ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。
　電気伝導率、Ｍアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、蒸発残留物

② 弁類

① 公道水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、１０Ｋとする。
② 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、５Ｋとする。
3）給水引込部の（ ・止水栓　・弁例 ）は水道事業者指定品とする。

3．量水器

1）親メーター　※借　用　・買取り（ ・直読　・遠隔表示 ）
2）子メーター　※買取り　・借　用（ ・直読　・遠隔表示 ）
現地表示式（直読式）の表示機構は　※湿式ﾌﾛｰﾄﾏｸﾞ式　・乾式ﾃﾞｼﾞﾀﾙ式
遠隔表示式は（ ※パルス式　・電文式 ）発信器を備える。

4．量水器桝

1）親メーター用　※水道事業者の指定品　・標準図（機材５７）
2）子メーター用　※標準図（機材５７）　・水道事業者の指定品

⑤ 定水位調整弁

※ 標準仕様書による　・水道事業者指定品
・ 定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。

6．緊急遮断弁装置

遮断弁の駆動方式は（ ※電気式　・機械式 ）とする。

7．水栓柱

※ 合成樹脂製　・ステンレス製
寸法　※約７０mm角全長約１３００mm　・図示による
寸法　※全長約１３００mm　・図示による

8．不凍水栓柱

1）屋外の水栓は　・キー式ハンドル
2）台所流し用の水栓は泡沫式とする。

9．水栓

給水栓用配管の接続口を（ ※設ける　・設けない ）ものとする。
２槽式の場合は、連通管を設けるものとする。

10．タンク

※ 別途工事　・本工事
弁ﾎﾞｯｸｽ、散水栓ﾎﾞｯｸｽ等はｺﾝｸﾘｰﾄ巻き仕上げとする。（但し舗装等の仕上げ部分は除く。）（施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。）

11．引込納付金等

12．ﾎﾞｯｸｽのｺﾝｸﾘｰﾄ巻き

排水設備

1．配管材料

※重複して適用の場合の使用区分は図示による

1）屋内汚水管　・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）
（第１桝まで含む）　・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)
　・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
2）屋内雨排水管　・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）
（第１桝まで含む）　・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)
　・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
3）通気管　・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）
　・建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管(FS-VP)
4）屋外排水管　・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＵ）
　・硬質ポリ塩化ビニル管（ＶＰ）（車道部）

2．排水金物

記号 ＣＯＡＤ は排除口を兼用する排水金物を示す。

3．汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ

水中形三相誘導電動機は、（ ※乾式　・油封式 ）とする。
電動機の極数は図示による。
着脱装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。
※ 別途工事　・本工事

4．接続納付金等

5．桝のｺﾝｸﾘｰﾄ巻き

小口径桝等はコンクリート巻き仕上げとする。（但し舗装等の仕上げ部分は除く。）（施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。）

給湯設備

1．配管材料

※重複して適用の場合の使用区分は図示による

1）・保温付被覆銅管　・銅管　・ステンレス鋼管
　・耐熱性ライニング鋼管　・架橋ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管
2）湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。
図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋとする。
ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、１０Ｋとする。
湯沸器の給排気筒の隠ぺい箇所は保温 ｈ･(ｲ)･Ⅸ を行う。

2．弁類

3．保温

消火設備

1．配管材料

※重複して適用の場合の使用区分は図示による

1）屋内消火栓　一般配管用　・配管用炭素鋼鋼管（白管）
　地中配管用　・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管
　ピット内　（ＳＧＰ－ＶＳ）
2）連結送水管　一般配管用　・圧力配管用炭素鋼鋼管（Ｓｃｈ４０）
　地中配管用　・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管
　（ＳＴＰＧ３７０－ＶＳ）
3）　一般配管用　・

2．消火栓弁の耐圧

※ １０Ｋ　・１６Ｋ

3．保温

1）呼水タンクの保温　※施工しない　・施工する
2）充水タンクの保温　※施工しない　・施工する
3）消火配管の保温は次による。
　（屋外露出、寒冷地は保温種別 ｅ２･(ﾊ)･Ⅷ による）
　・屋内消火栓　※施工しない　・施工する
　・スプリンクラー　※施工しない　・施工する
　・連結送水　※施工しない　・施工する
　・連結散水　※施工しない　・施工する

4．屋内消火栓

※ 広範囲型２号消火栓　・２号消火栓
・ 易操作１号消火栓　・１号消火栓

5．屋外消火栓

開閉弁の材質は　・鋳鉄製（要都青鋼製）　・ステンレス鋳物製
箱の材質は　※鋼板製　・ステンレス鋼板製

ガス設備

1．都市ガス設備

2．配管材料

※重複して適用の場合の使用区分は図示による

ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。
1）都市ガス　ガス事業者の定めによる。
2）液化石油ガス　一般配管用　・配管用炭素鋼鋼管（白管）
　地中設置用　・ポリエチレン被覆鋼管

3．ガス漏れ警報器

※ 不要
・ 要（取付け位置は図示による。外部出力端子　・不要　・要 ）
警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。

4．充てん容器

・１０ｋｇ　・２０ｋｇ　・５０ｋｇ　　本
※ 借用　・買取り

5．バルク貯槽

・ 縦型　・横型　最大充てん量　　ｋｇ
・ 借用　※買取り

6．ガスメーター

1）親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。
2）子メーター計量方式（ ・直読　・遠隔表示 ）

7．容器廻りの配管

施工方法は標準図（施工７３）の　・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ）

8．容器転倒防止

施工方法は標準図（施工７４）の　・（ａ）　・（ｂ）

浄化槽設備

1．処理種別及び方式

・ 小規模合併処理
（ ・担体流動生物濾過方式　・嫌気分離接触ろ床方式 ）
・ 合併処理（ ・　　）

2．その他

図示による。

雨水利用設備

1．システム構成その他

図示による。

2．配管材料

1）一般配管用　・ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＡ）（ＳＧＰ－ＦＰＡ）
2）土間配管用　・ポリ粉体鋼管（ＳＧＰ－ＰＤ）（ＳＧＰ－ＦＰＤ）
3）地中配管用　・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）

3．弁類

図面に特記なき場合の耐圧は、５Ｋとする。

4．量水器

※ パルス式　・直読式

5．雨水電動遮断弁

・ ナイフ仕切弁　・偏心式プラグ弁　・バタフライ弁

6．網かご形スクリーン

目幅の有効間隔は（ ※５mm　・　mm ）とする。

7．薬液注入装置

構成その他は図示による。

冷媒の回収方法について

冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は（ ※本工事　・別途工事 ）とする。
（1）「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。
⊙第1種フロン類充填回収業者の登録通知書（都道府県知事登録）の写し
⊙事前確認書の写し　⊙回収依頼書の写し　⊙引取証明書　⊙破壊証明書の写し
（2）ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。
⊙特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）の写し

石綿含有設備資材の処理について

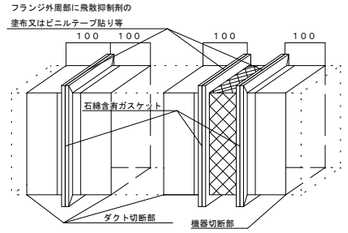
Ⅰ．石綿を含有する設備資材の撤去方法

1．工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。
　撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告を行う。
2．各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾を得ること。
（1）ダクトフランジ部
　ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。
　1）ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。
　2）ダクトの切断は、フランジ部分の両側約１００mmの箇所において慎重に行う。
　3）ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。
（2）たわみ継手フランジ部
　たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。
　1）ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。
　2）ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約１００mmの箇所において慎重に行う。
　3）ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。
（3）配管フランジ部
　配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。
　1）配管の切断は、フランジ部分にかからない箇所において行う。
（4）成形保温材付き配管の曲線部
　成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。
　1）配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。
　2）ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。
　3）配管の切断は、密閉部分の両側約１００mmの箇所において慎重に行う。

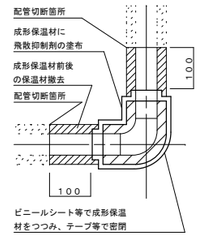
Ⅱ．石綿を含有する設備資材の処理方法（※搬出費・運搬費・処分費は別途）

（1）処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。
（2）石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他。「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。
（3）構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。
（4）石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。

フランジ外周部に飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等



ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図　S=NS



成形保温材付き配管撤去要領図　S=NS

建築物解体工事（機械設備の部）

Ⅰ．工事概要（解体工事の部）
1．工事内容（解体工事の部）
1）特記仕様書（機械設備の部）Ⅰ．２．建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。
2）上記撤去範囲部分は、地中埋設部分を含めて全て撤去する。
　アスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤撤去、埋め戻し・整地は別途建築工事とする。
3）本工事による撤去機器、配管及び桝類は、場内の指定場所に集積する。（図面は参考とする）
（1）建物については、
　①重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。
　図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。
　（コンクリート基礎の撤去は建築に含む。）
　②人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。
　フロンガスは「冷媒の回収方法について」による。
　③熱源の残油はタンク及び配管内を含み回収し、適切に処理するものとし、
　（ ※本工事　・別途工事 ）とする。
（2）その他の機器及び配管・ダクト類について、処理に関する記載のない事項は、全て重機による取り壊しとする。
（3）屋外埋設機器及び配管・桝類については全て撤去する。
　図示された桝類のうち、量水器桝、弁桝、散水栓ＢＯＸ、ため桝、インバート桝は、建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。
　配管およびプラスチック桝は建築工事の重機作業に含む。
（4）給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う。
4）撤去する配管、ダクト（付属品含む）の保温材の分離は原則として中間処理上にて行う。
5）浄化槽内の汚泥改取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。
　（浄化槽内の汚泥改取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない）

Ⅱ．工事仕様（解体工事の部）
1．特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）」（以下、「解体共通仕様書」という。）により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、特記仕様書（機械設備工事の部）による。

設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 － (A3版-71%縮小)	図番
令和5年2月 三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	特記仕様書（機械2）	M-02

工事区分表

区分は○印を適用する。●印が有る場合は●印を適用する。

	項目	建築	電気	機械	昇降機	備考
①躯体関係						
①ＲＣ造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	貫通スリーブ					各工事の開口用
	貫通スリーブの補強					各工事の開口用
	開口補強を要する型枠材及び取付け					
	開口部の補強	○		○		
	開口補強を要しない型枠材及び取付け					
	貫通孔・開口部の墨出し	○		○		
	スリーブ・型枠の穴埋め					
2．Ｓ・ＳＲＣ造（梁・壁・床）の貫通孔・開口部	Ｓ・ＳＲＣ造鉄骨貫通鋼管スリーブ・補強					各工事の開口用
	開口補強を要する型枠材及び取付け					
	開口部の補強					各工事の開口用
	開口補強を要しない型枠材及び取付け					
	貫通スリーブ（工場施工部分）					各工事の開口用
	貫通スリーブ（工場施工部分以外）					
	貫通孔・開口部の墨出し					
	スリーブ・型枠の穴埋め					防火区画・防煙区画
	予備スリーブの穴埋め					防火区画・防煙区画
③設備機器の基礎	屋上設置の基礎					
	屋上基礎で保護コンクリートにアンカーしない軽微なもの					
	室内設置のコンクリート基礎で軽微なもの					
	室内設置のコンクリート基礎で軽微なもの以外					
	屋外設置の基礎	○				
	機器取り付け用アンカー・架台			○		
4．昇降機関連	昇降路及び機械室の築造					
	昇降路内又は機械室天井のフック					
	ピットの防水仕上げ					
	各階出入口三方枠及び位置表示器 乗場ボタン取付け用口部の仮枠穴開け					
	三方枠・出入口扉					
	乗り場敷居受け					
	乗場機器取付け後の壁・床・天井仕上げ					
	昇降路がＲＣ造の時の軌条・中間ビーム ・ブラケット他昇降路内の鉄製部材一式					
	昇降路がＳ造の時の中間ビーム ブラケット受けピース、ファスナー					
	昇降路がＳ造の時のブラケット受け、中間ビーム・ファスナー以外の昇降路内の鉄製部材一式					
	電源及び接地線工事					
	機械室・ピットの点検用コンセント					
	煙感知器設置工事					
	停電時非常電源識別接点引込み工事					
	火災時識別リレー接点引込み工事					
	放送用信号線引込み工事					
	エレベーター監視盤への電源引込み工事					
	インターホン・エレベーター監視盤の 昇降路外配管工事					
	同上配線工事					
	ピット点検用タラップ					
	機械室の配管用コンクリート及び床用防塵塗料					
	機械室床の機器搬入口の仮枠・補強及び復旧					
	機械室床のロープ用穴等の仮枠穴開け					
	機械室マシンビーム受け梁					
	機械室換気設備工事					

	項目	建築	電気	機械	昇降機	備考
	機械室照明設備工事					
	設備機器メンテナンス歩廊					
②仕上げ関係						
①軽鉄天井・壁下地	補強を要するボードの切込み及び下地の補強	○				
	補強を要しないボードの切込み	○				
	開口部の墨出し	○	○	○		
	リブ天井仕上げ材の器具廻り取合い					
②既製間仕切り	切込み及び補強	○				
	位置ボックス		○			
	衛生器具類・機器類取付用の壁補強			○		
③吊りボルト及びインサート	設備機器・器具・配管・配線・ダクト用			○		
	Ｓ造の場合の設備吊りボルト用構造部材					打合わせによる
④外壁廻り	外壁ガラリ及びダクト接続用フランジ			○		
	ウエザーカバー、ベントキャップ			○		
	換気扇及び換気扇用枠			○		
5．湯沸室廻り	流し台・吊戸棚・水切り棚・コンロ台					
	湯沸器					
	既製品レンジフード換気扇					
	現場製作ＳＵＳフード					
	ミニキッチン本体					
	ミニキッチン用換気送風機・ダクト					
	ミニキッチン用衛生配管					
6．便所廻り	洗面カウンター（既製品）					
	洗面カウンター（既製品以外）					
	鏡（Ｗ６００×Ｈ９００まで）					
	鏡（Ｗ６００×Ｈ９００を越えるもの）					
	衛生陶器及び水栓類					
	手すり・ペーパーホルダー					
	オストメイト対応水洗器具					
	大型ベッド					
	乳幼児用いす					
	収納式着替え台					
7．浴室廻り	ユニットバス・ユニットシャワー					
	同上、出入口壁取合い部枠					
	既製品浴槽（風呂蓋含む）					
	浴槽・洗い場の排水金物					
	洗濯機パン					
8．事務室廻り	ドアガラリ及びアンダーカット					
	フリーアクセスフロアの切込み及び補強					
	フリーアクセスフロア用マーカー					
⑨その他	２重ピット及びトレンチのマンホール蓋	○				
	機器搬入用フック、ビーム					
	化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上げ					屋外を除く
	点検口（天井・床下・壁）	○				
	排煙口等の天井仕上材の取付け	○				
	自動閉鎖装置を取付ける防火戸の切込み補強					
	消火器ＢＯＸ					消火器は別途工事
	厨房用グリーストラップ					
	トラフ・ピット類（蓋を含む）					

	項目	建築	電気	機械	昇降機	備考
	地下各水槽躯体及び防水・ マンホール・タラップ					
	ＡＬＣ、押出成形セメント板（ＥＣＰ）壁 の開口補強					
	油サービスタンク及びポンプの防油堤					
	フリーアクセスフロア内の防水堤					
	電気錠本体					
③屋外排水設備・外構						
①雨水	屋外雨水排水設備					
	桝及び桝蓋					
	ルーフドレン					
	たてとい及び横走り管	○				
	雨水利用配管（ストレーナーまで）					
	雨水利用配管（ストレーナー以降）					
②雑排水・汚水	屋外雑排水及び屋外汚水排水設備			○		
	桝及び桝蓋			○		
	化粧マンホール上蓋及び蓋の仕上げ					
3．煙突	煙突					
	発電機室から煙突までの排気管					
	煙道接続用スリーブ					
4．浄化槽	現場施工形の土工事・山留め・杭・地盤改良・ 躯体工事					
	ユニット形の本体設置工事					
	ユニット形の山留め・杭・地盤改良・躯体工事					
	ユニット形の土工事（根切り）					
	ユニット形の土工事（埋戻し）					
	良好な地盤（山留め・杭・地盤改良が不要） で、浄化槽上部に重量物が載らない場合の ユニット形の土工事・躯体工事					
5．地下貯油槽（タンク室を設ける場合）	タンク室の躯体（山留め工事関係を含む）					
	タンク室の乾燥砂充填					
	タンク室のタンク本体及び配管					
	タンク室を設けない場合のタンク及び設置工事					
6．その他	駐車場ガソリントラップ					
④電気配線配管						
	機器附属の制御盤以降の配管配線（接地線共）			○		２次側
	機器附属の制御盤への電源供給配管配線		○			１次側
	自動制御と動力盤との電源供給の渡り配管配線			○		
	自動扉への電源供給					
	自動扉キースイッチ及び キースイッチまでの配管					
	自動扉本体及びキースイッチ以降の配線					
	電動シャッター電源供給					
	電動シャッター操作スイッチ用 位置ボックス及び配管					
	電動シャッター本体・操作スイッチ及び その間の配線					
	室内機と屋外機の渡り（連絡）配線			○		エアコン、湯沸器等
	機器と附属操作スイッチの 位置ボックスとその渡り配管		○			エアコン、 全熱交換器等
	機器と操作スイッチの渡り配線			○		
	小便器用節水装置への電源供給		○			
	注油口内アース端子よりのアース用配管配線					

	項目	建築	電気	機械	昇降機	備考
	防火戸の連動制御器・煙感知器・吸着板・ ラッチ受座の取付け					
	上記の配線					
	防火・防煙シャッター及び二次側配線					
	上記連動制御器・煙感知器の取付け及び 配管配線					
	防煙ダンパー					
	上記連動制御器・煙感知器の取付け及び 配管配線					
	排煙口					
	上記連動制御器・煙感知器の取付け及び 配管配線					
	電気錠への電源供給					
	避雷導体間の接続工事					

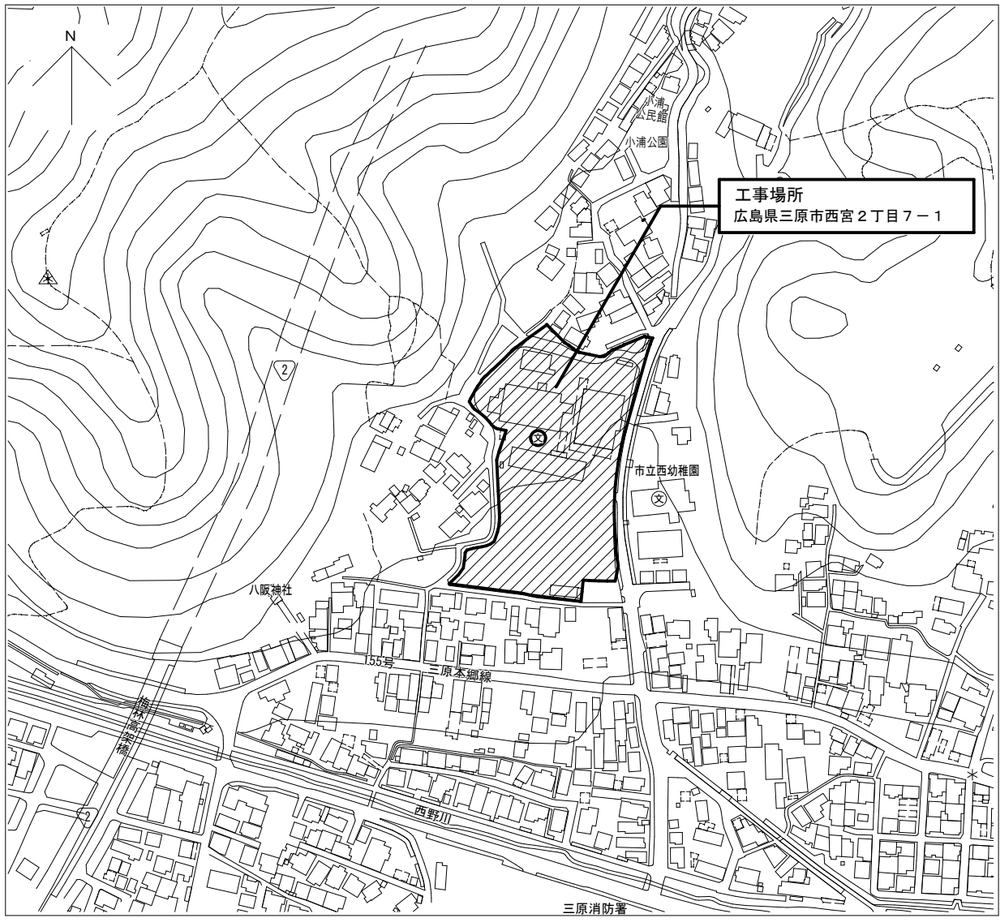
■工事概要

1．コンクリート製受水槽撤去、高架水槽撤去を行い、ＳＵＳ製受水槽＋加圧給水ポンプの新設を行う。

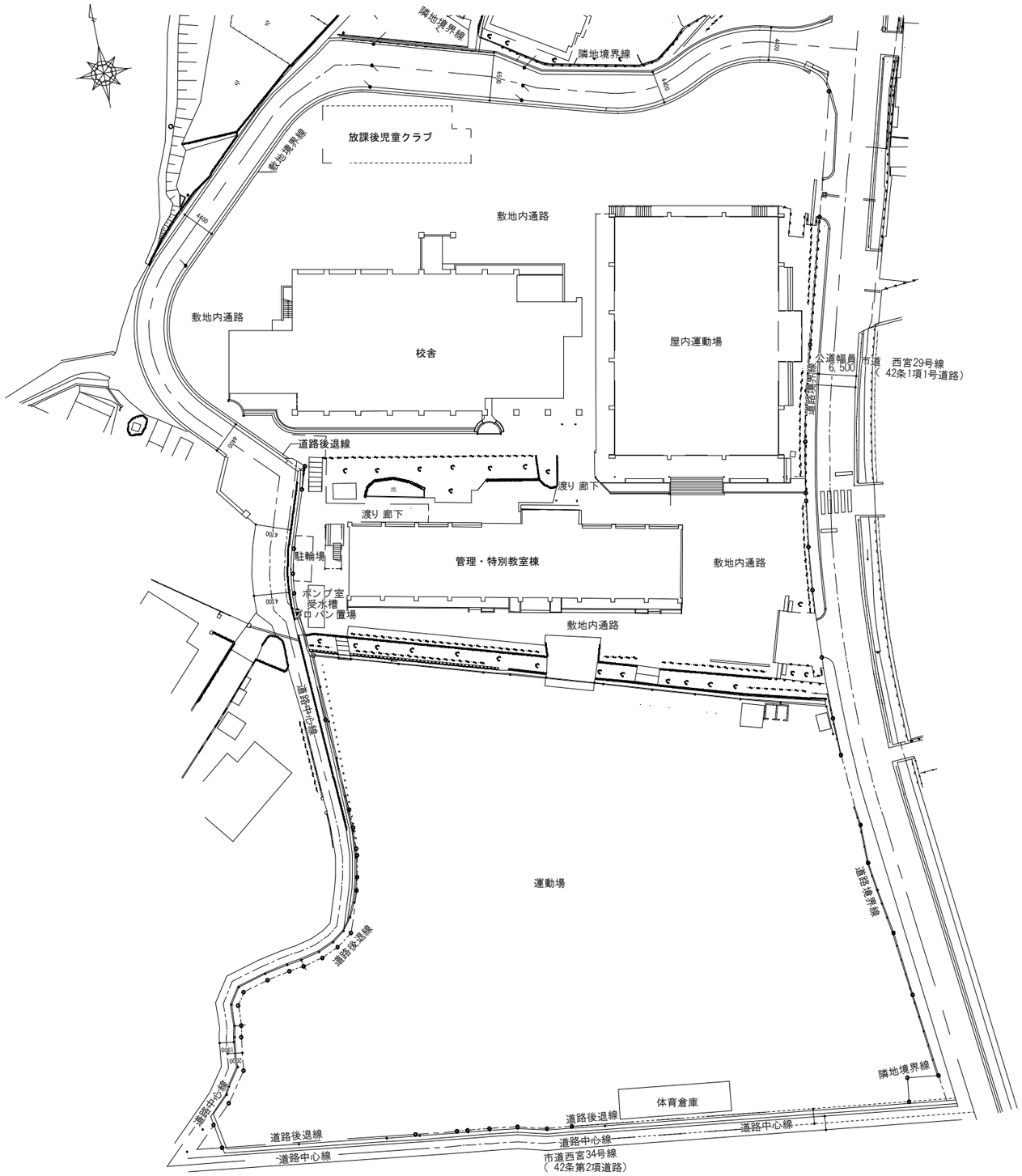
2．廊下手洗い　３Ｆ図工室流し台の水栓（カラン）を撤去新設

3．対象校舎内の換気扇を撤去・新設（ウェザーカバー共）

4．他工事との取合いとなる空調屋内機、屋外機の取外・再取付・移動等（別途工事）



付近見取図　S=1/2,500



配置図　S=1/500

設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺　S=1/2,500 S=1/500　(A3版−71%縮小)	図 番
令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	付近見取図・配置図	M-04

給水設備機器表（新設）

記　号	名　称	仕　様	数量	設置場所	備　考
TWP-1	SUS受水槽一体型 自動給水ユニット	SUS受水槽一体型　2槽式　貯水容量 5.2m³　耐震1G W2000×D2000×H2000　点検口 600φ　内外タラップ チャンネルベース共	1	1階 外部	
	加圧給水 ポンプユニット	末端圧力推定制御　インバーター制御　自動交互 40φ×40φ×80L/min×20m×1.1kW×2（3φ200V） GV,CV　制御盤　防振架台 アンカーボルト・ナット（SUS製）共	1	1階 外部 受水槽ポンプ室内	

給水設備機器表（撤去）

記　号	名　称	仕　様	数量	設置場所	備　考
WT-1	受水槽	RC製　貯水容量 6.0m³ W2000×D5500×H2250　フタ450φ 内タラップ ステンレス製 19φ 400×300@400 ポンプ室、プロパン置場共	1	1階 外部	撤去（建築工事）
WHT-1	高架水槽	FRP製サンドイッチパネルタンク　貯水容量 3.0m³ 1600φ×1700H　鋼製架台 H=3000共	1	R階	撤去（鋼製架台の撤去は建築工事） 1600φ×1700H　200kg
WP-1	揚水ポンプ	多段渦巻ポンプ　単独交互運転 40φ×220L/min×18m×1.5kW 40GV,CV,40φ×300L FJ×2共	1	1階 外部 ポンプ室	撤去 W244×D750×H325　58kg
WP-2	揚水ポンプ	多段渦巻ポンプ　単独交互運転 40φ×170L/min×20m×1.5kW 40GV,CV,40φ×300L FJ×2共	1	1階 外部 ポンプ室	撤去 W244×D750×H325　58kg

衛生設備機器表（新設）

記　号	名　称	仕　様	数量	設置場所	備　考
WHG-1	ガス瞬間湯沸器	形　式 ： 5号 元止め式 能　力 ： 14.2kW そ の 他 ： 付属品一式	1	1階 職員室	
WHG-2	ガス瞬間湯沸器	形　式 ： 5号 先止め式 能　力 ： 14.2kW そ の 他 ： 付属品一式	1	1階 保健室	
WHG-3	ガス瞬間湯沸器	形　式 ： 20号 屋外壁掛型 能　力 ： 36.9kW	1	1階 保健室	

衛生設備機器表（撤去）

記　号	名　称	仕　様	数量	設置場所	備　考
WHG-1	ガス瞬間湯沸器	形　式 ： 5号 元止め式 能　力 ： 11.4～5.7kW（ガス消費量） そ の 他 ： 水量・ガス量安定装置付 連続スパーク点火（電池式）	1	1階 職員室	撤去 PH-5BW H370×W288×D141 6.0kg
WHG-2	ガス瞬間湯沸器	形　式 ： 5号 先止め式 能　力 ： 11.2～5.6kW（ガス消費量） そ の 他 ： 水量・ガス量安定装置付 連続スパーク点火（電池式）	1	1階 保健室	撤去 PH-5RF H360×W288×D141 5.0kg
WHG-3	ガス瞬間湯沸器	形　式 ： 20号 屋外壁掛型 能　力 ： 43.6～6.51kW（ガス消費量）	1	1階 保健室	撤去 PH-20CWQ3 H565×W350×D130 16.0kg

衛生設備　凡例

記　号	名　称	管　種	
___ - ___	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）　屋内一般	JWWA K 116
___ - ___	給水管	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VD）　地中埋設	JWWA K 116
————	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　屋内汚水管（桝間VU）	JIS K 6741
————	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　屋内雑排水管	JIS K 6741
----------	排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	JIS K 6741
—— G ——	液化石油ガス管	配管用炭素鋼鋼管(露出部)　(SGP-白)	JIS G 3452
//////////	撤去範囲		
——⊥——	配管切断･接続		
___ - ___	既設給水管	水道用硬質ポリ塩化ビニルライニング鋼管（SGP-VB）	
___ (　)	既設排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP）	
___ G (　)	既設液化石油ガス管	配管用炭素鋼鋼管(露出部)　(SGP-白)	

保温仕様表

管種別	施工場所	保　温　仕　様
給水配管	屋内露出	ａ１・ロ・Ⅶ
給水配管	屋外露出	ｅ２・ハ・Ⅶ

衛生器具表　新設

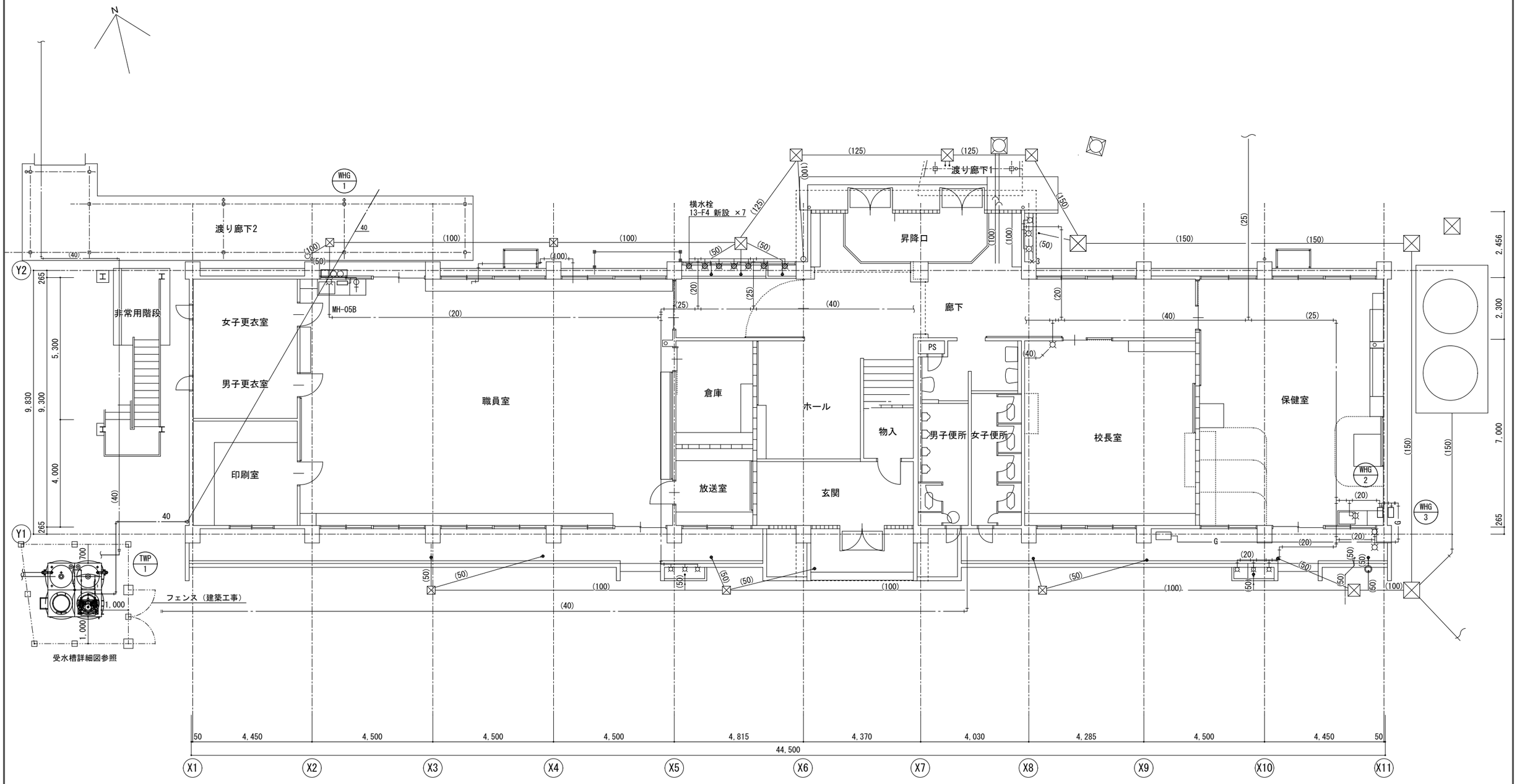
名　称	記　号			仕　様	1階廊下	2階廊下	3階廊下	3階図工室	合計	備　考
	ＪＩＳ	ＴＯＴＯ								
横水栓	13-F4	T23BNR13C			7	5	5	6	23	

衛生器具表　撤去

名　称	記　号			仕　様	1階廊下	2階廊下	3階廊下	3階図工室	合計	備　考
	ＪＩＳ	ＴＯＴＯ								
横水栓	13-F4	T23B13			7	5	5	6	23	

〔 管理・特別教室棟 〕

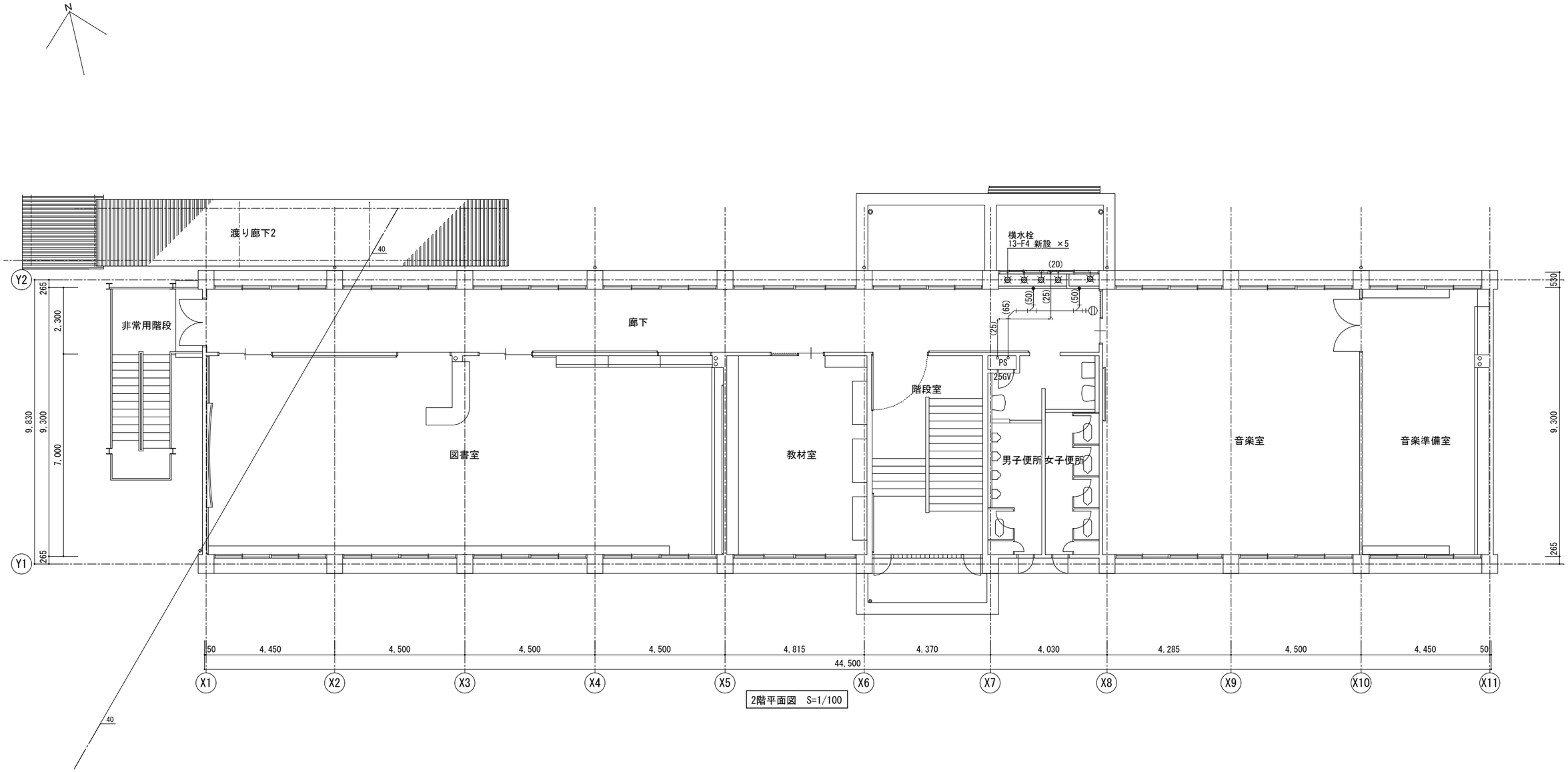
	設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名･建築士登録番号･氏名	図面名称・縮尺 ― (A3版-71%縮小)	図 番
	令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	衛生器具表（新設・撤去）	M-05



1階平面図　S=1/100

〔 管理・特別教室棟 〕

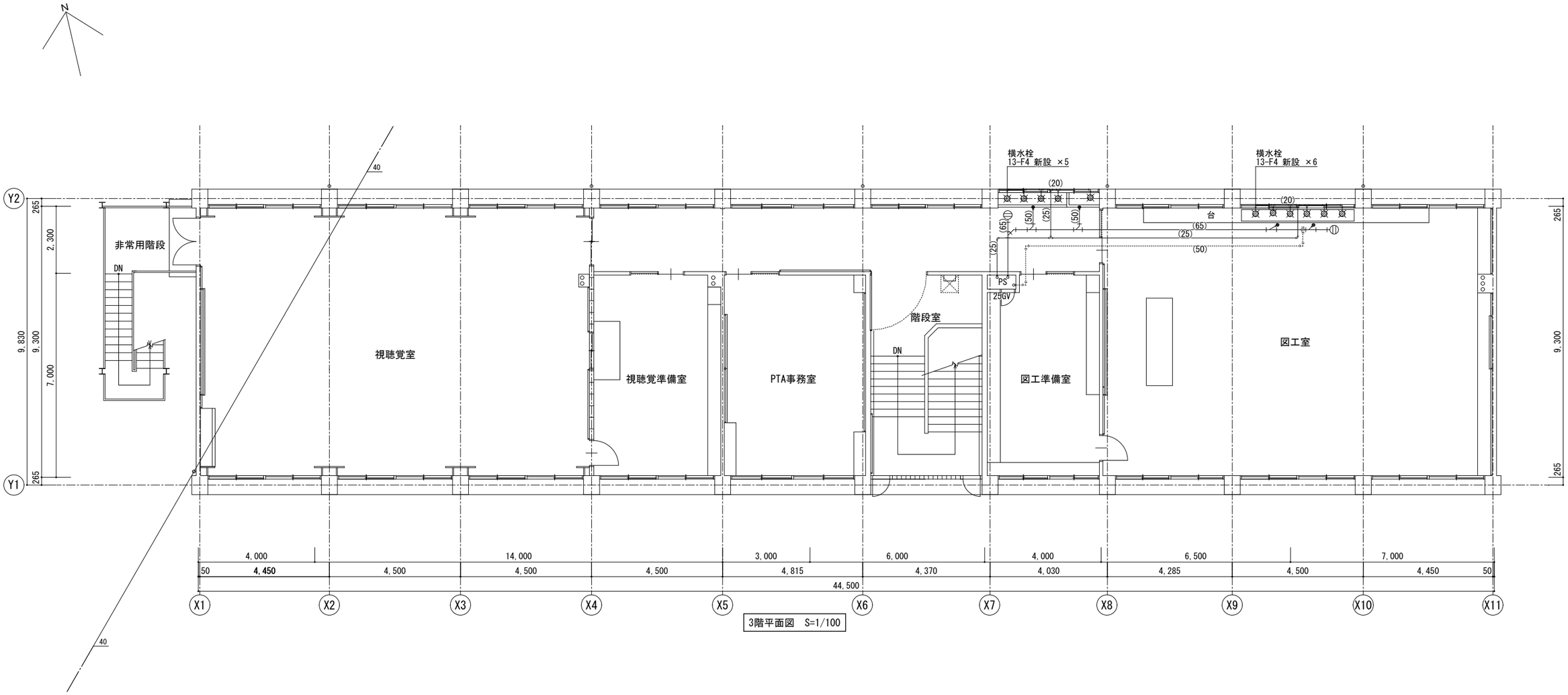
	設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
	令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社 ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	給排水設備 1階平面図（改修後）	M-06



2階平面図 S=1/100

〔 管理・特別教室棟 〕

設計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図番
令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社 ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	給排水設備 ２階平面図（改修後）	M-07

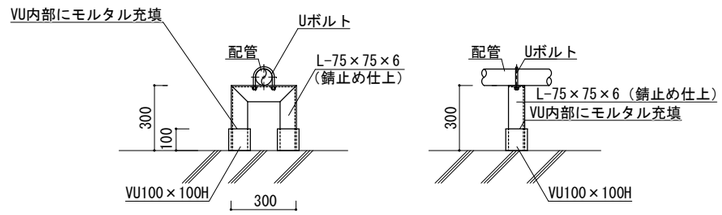


3階平面図　S=1/100

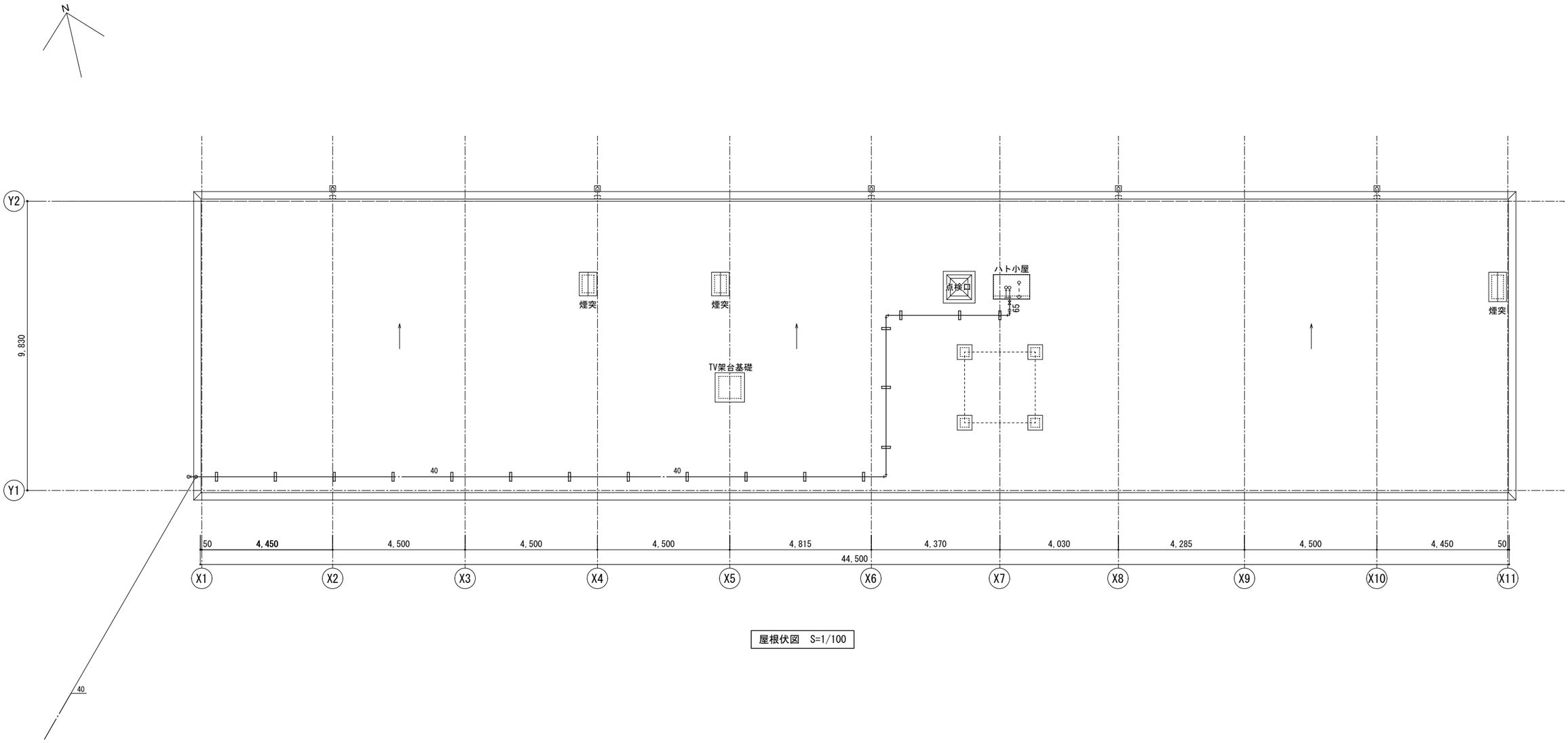
〔 管理・特別教室棟 〕

設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺　S=1/100　(A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	給排水設備　３階平面図（改修後）	M-08

<配管支持架台>(a)



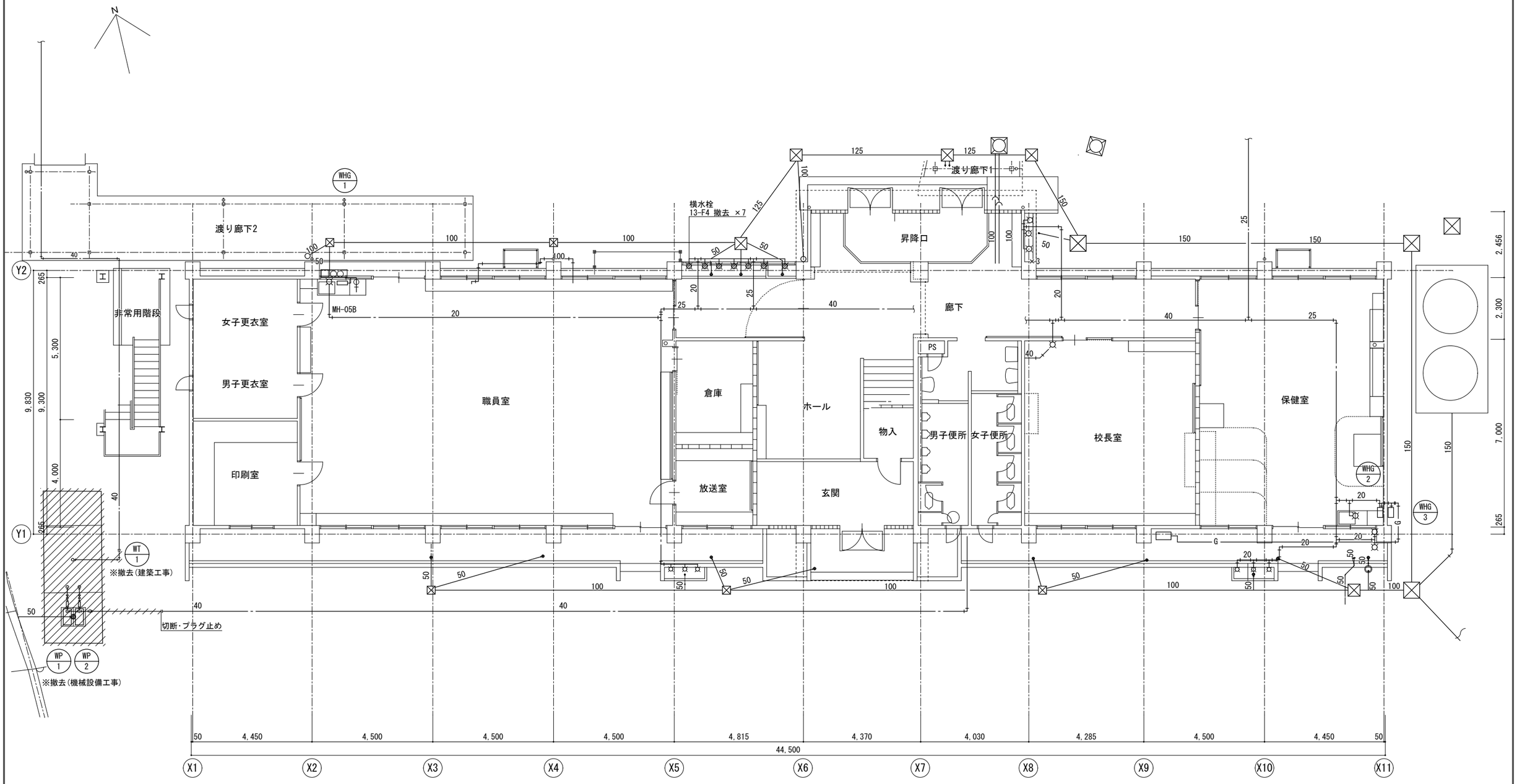
配管支持架台要領図　S=1/20



屋根伏図　S=1/100

〔 管理・特別教室棟 〕

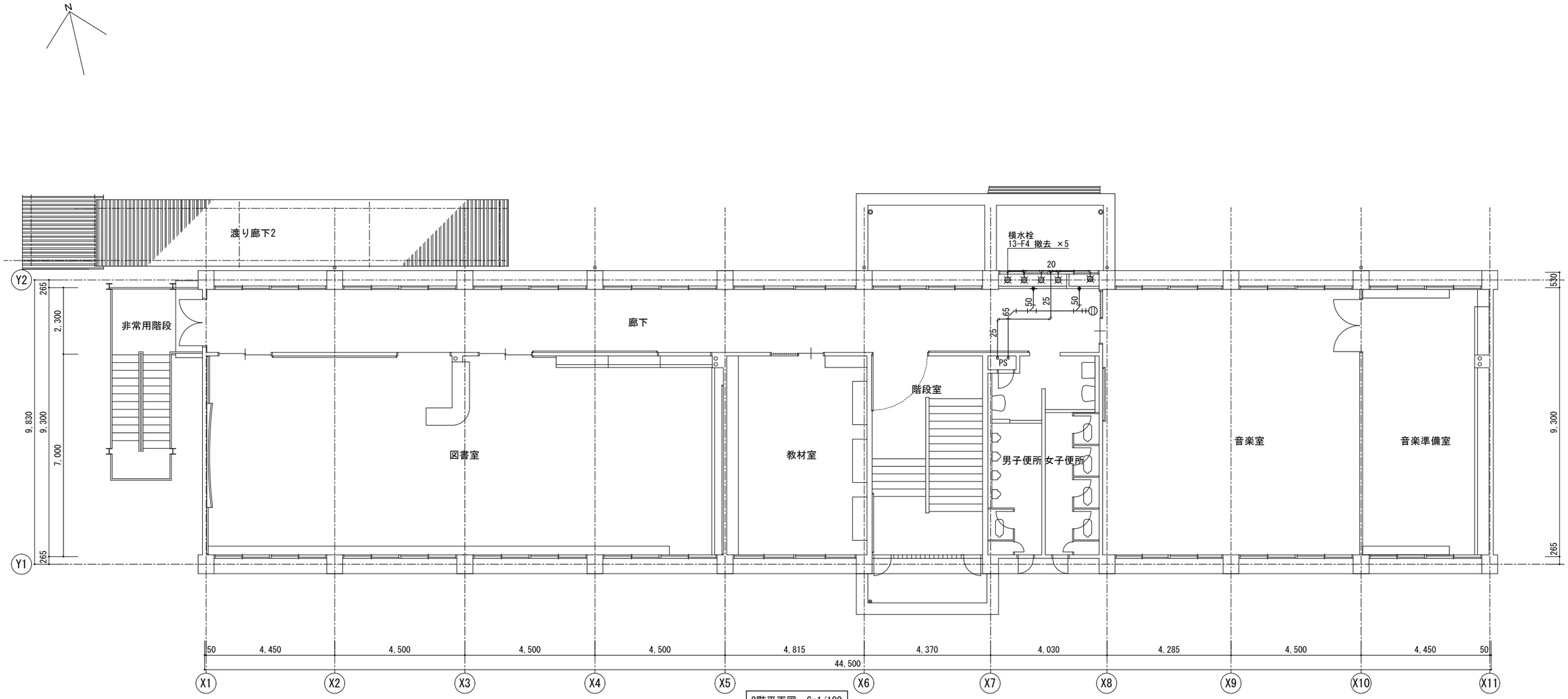
	設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
	令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社 ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	給排水設備 R階平面図（改修後）	M-09



1階平面図　S=1/100

〔 管理・特別教室棟 〕

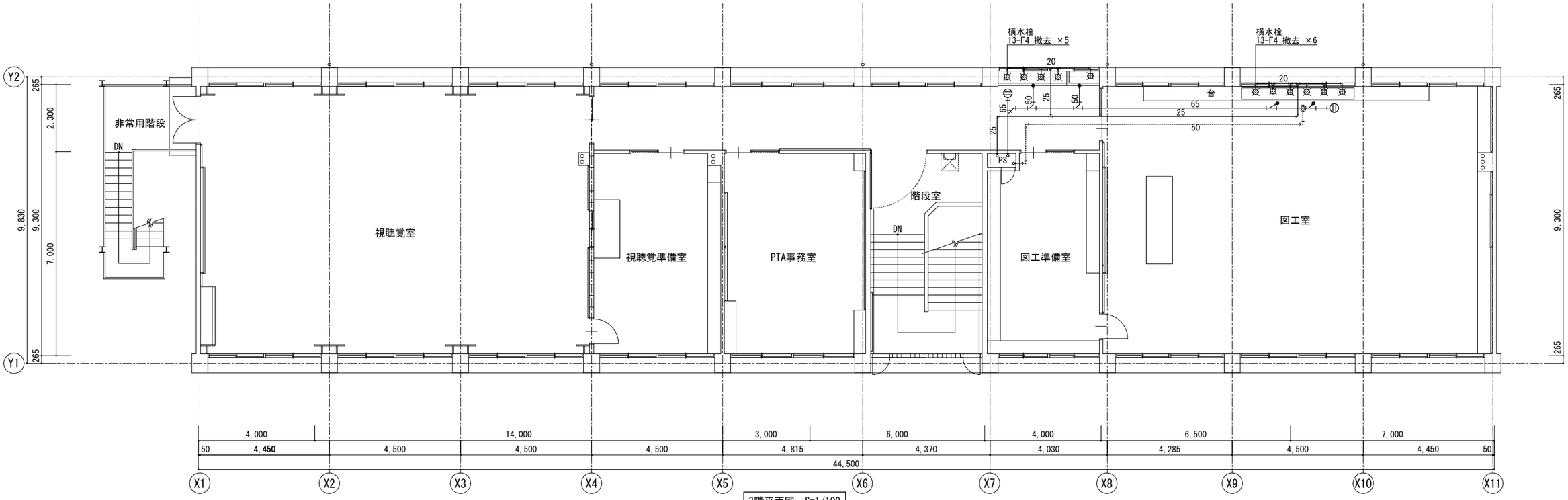
	設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名		図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
	令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	事務所名・建築士登録番号・氏名 有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	給排水設備　１階平面図（改修前）	M-10



2階平面図　S=1/100

〔 管理・特別教室棟 〕

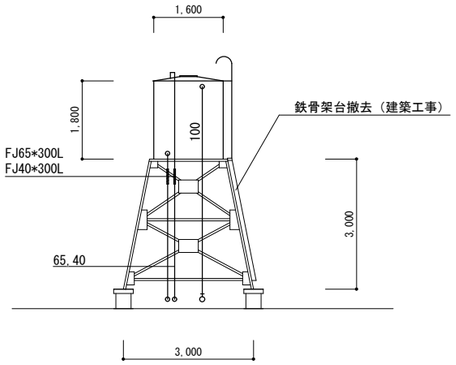
設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺　S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	給排水設備　２階平面図（改修前）	M-11

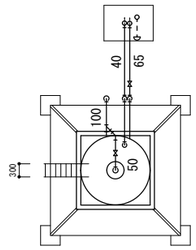


3階平面図　S=1/100

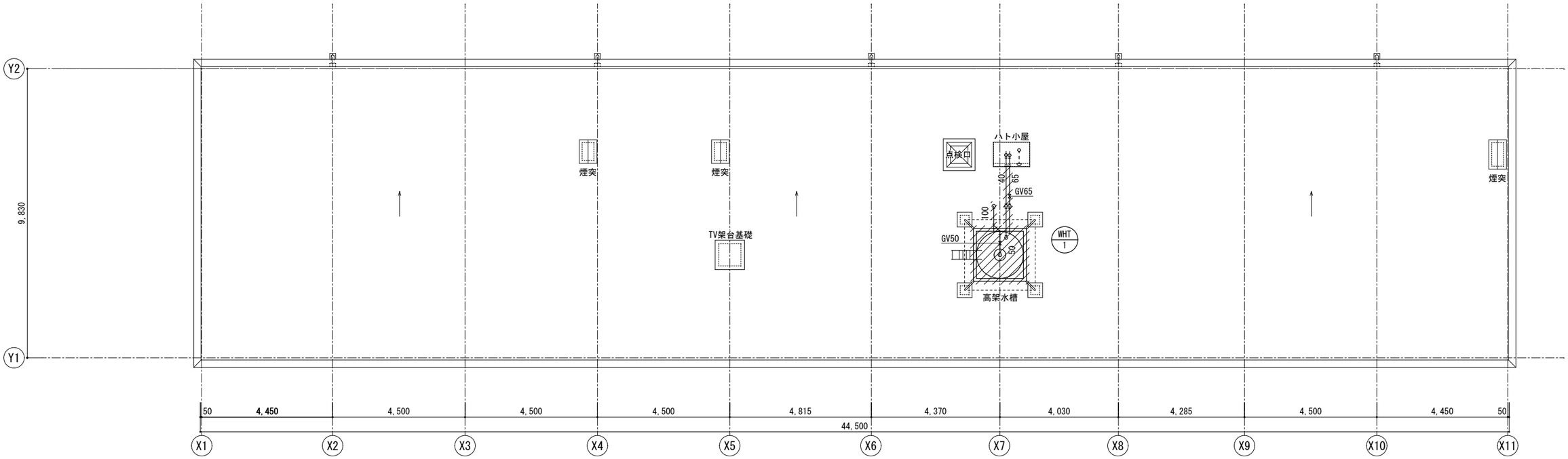
〔 管理・特別教室棟 〕

	設 計 令和5年2月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 機械	工事名 西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	事務所名･建築士登録番号･氏名 有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	図面名称・縮尺　S=1/100　(A3版-71%縮小) 給排水設備　３階平面図（改修前）	図 番 M-12





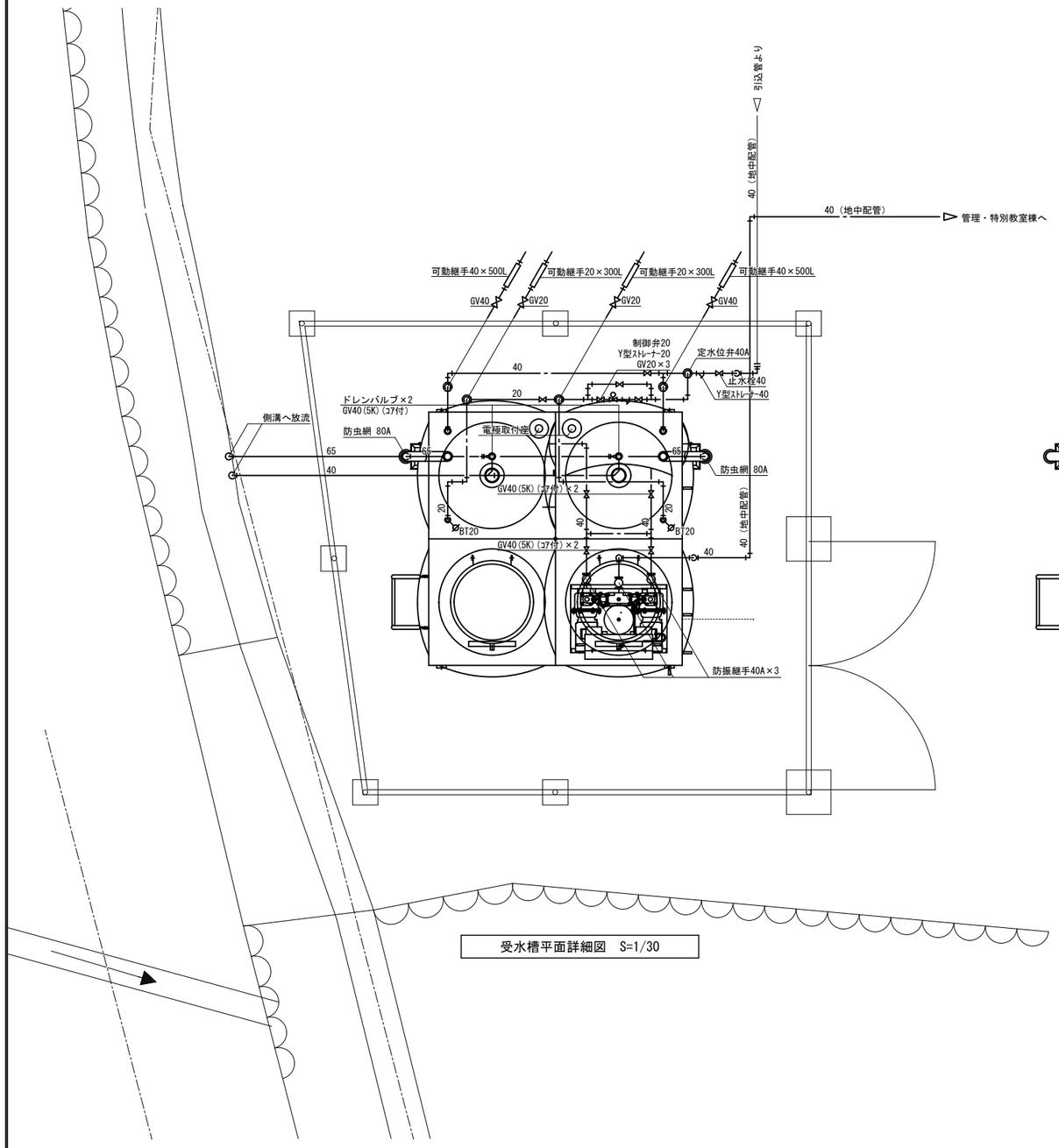
高架水槽詳細図　S=1/100



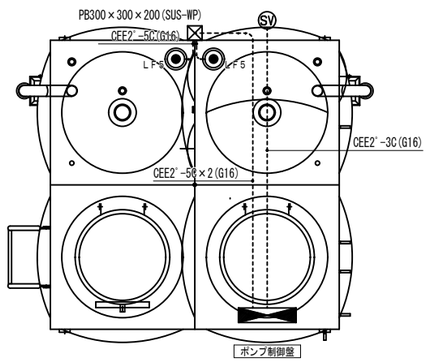
屋根伏図　S=1/100

〔 管理・特別教室棟 〕

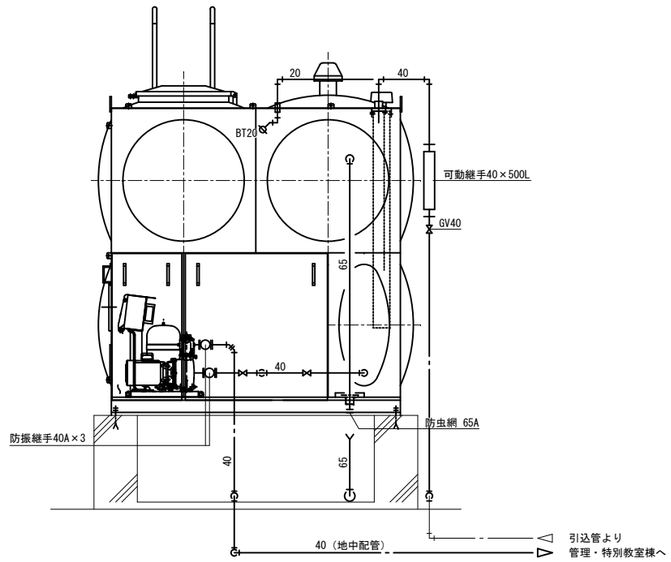
設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	給排水設備　Ｒ階平面図（改修前）	M-13



受水槽平面詳細図　S=1/30



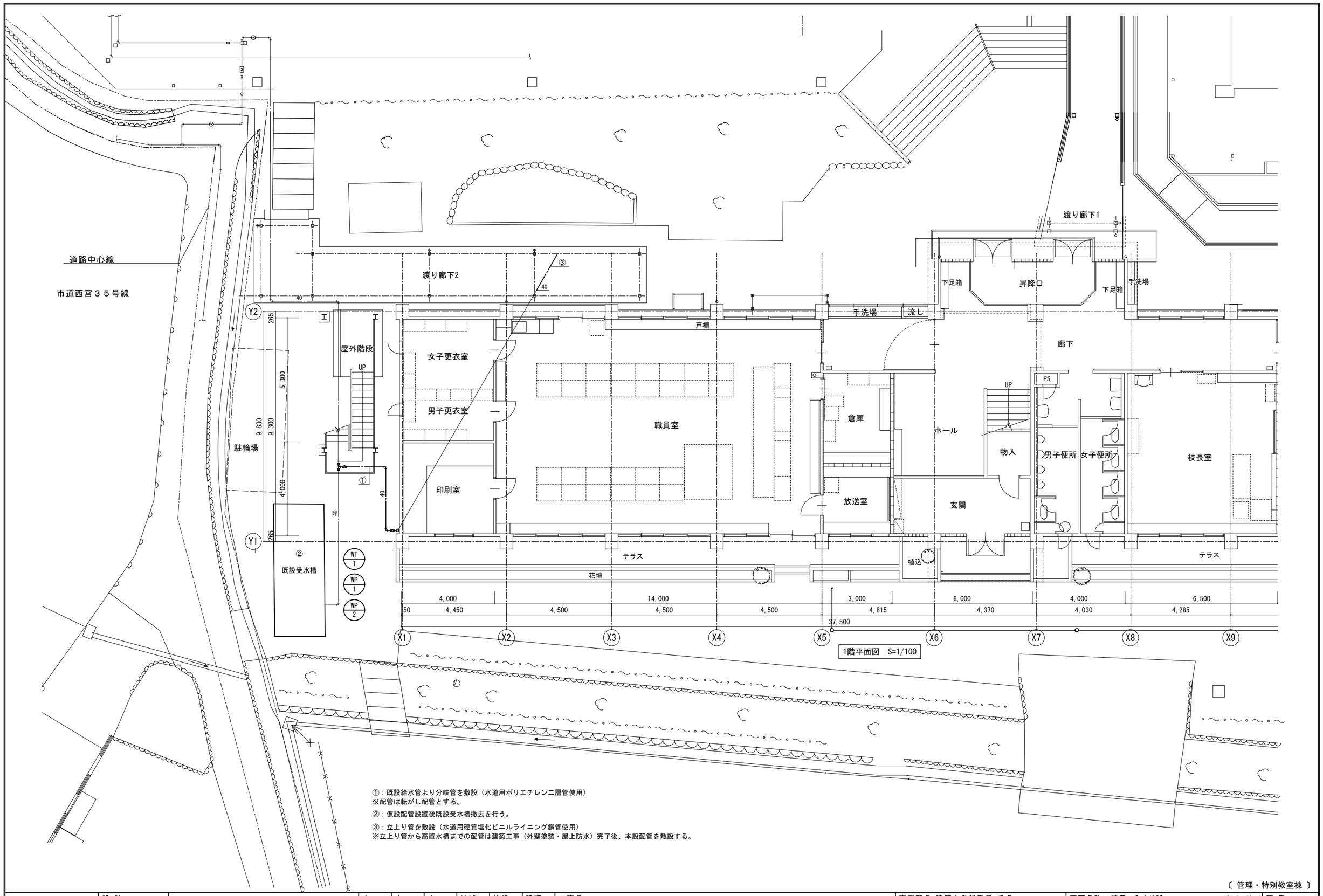
受水槽配線図　S=1/30



受水槽断面詳細図　S=1/30

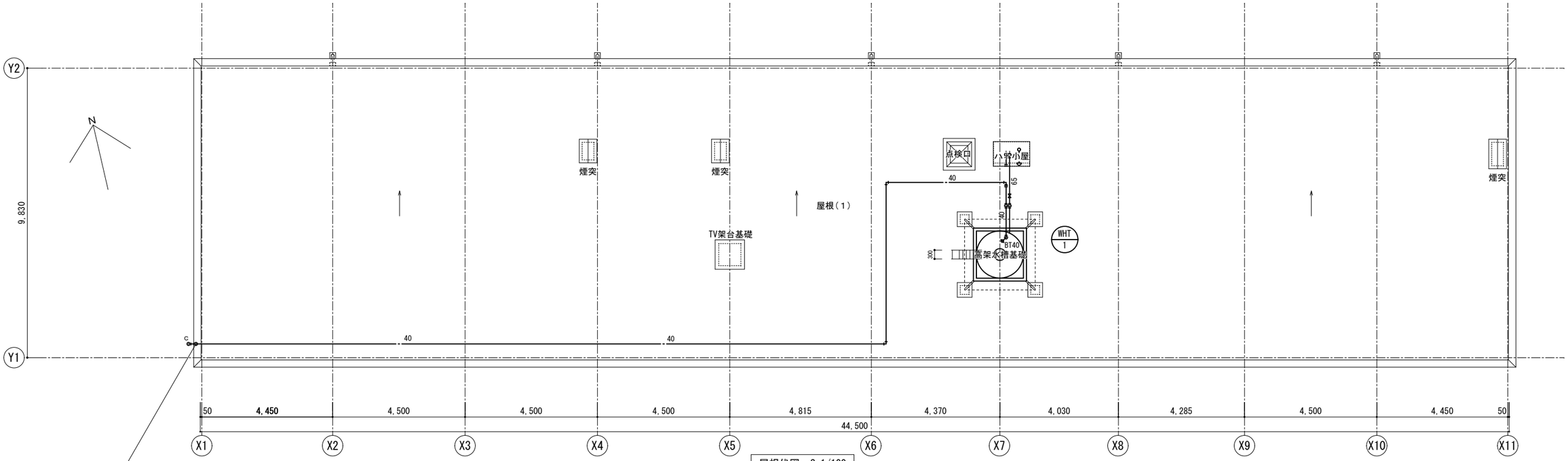
〔 管理・特別教室棟 〕

設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名･建築士登録番号･氏名	図面名称・縮尺　S=1/30 (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	受水槽　平面・断面詳細図	M-14

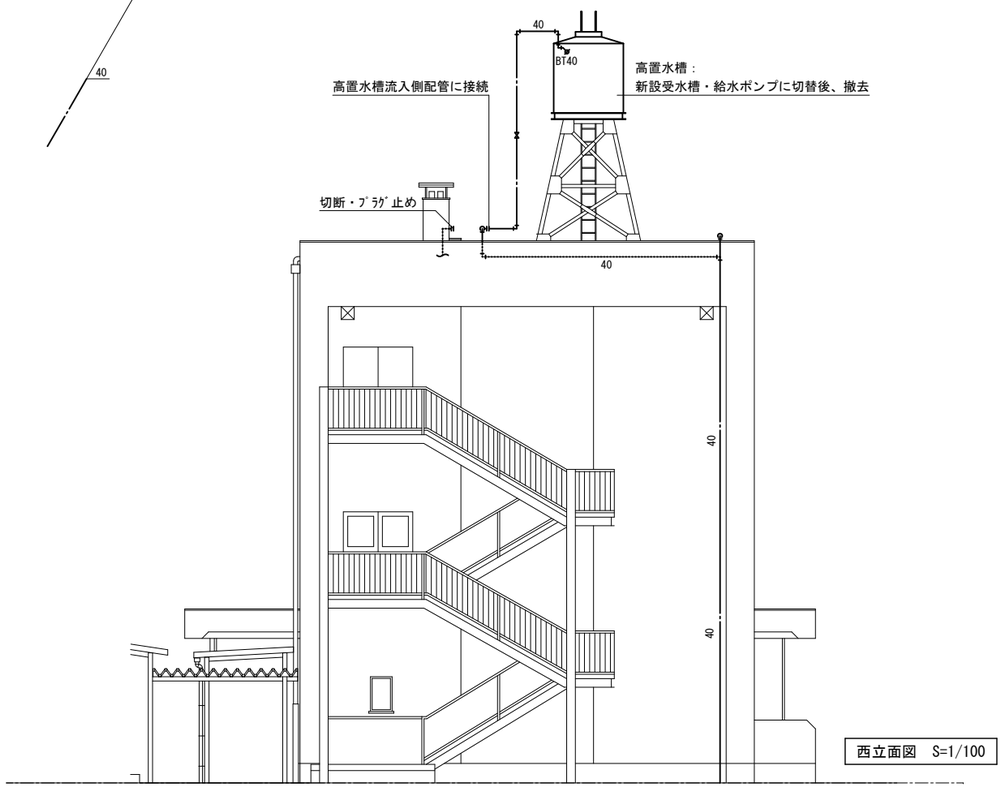


〔 管理・特別教室棟 〕

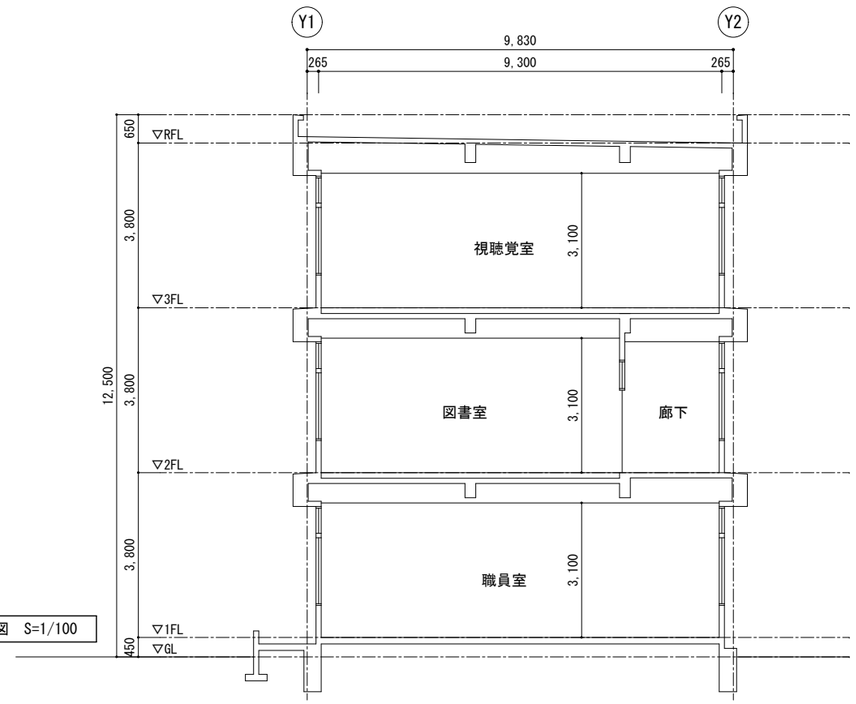
設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名･建築士登録番号･氏名	図面名称・縮尺　S=1/100　(A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	給水設備　仮設計画図（１）	M-15



屋根伏図　S=1/100



西立面図　S=1/100



断面図　S=1/100

〔 管理・特別教室棟 〕

設 計		大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月	三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社 ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	給水設備 仮設計画図（２）	M-16

空調機器表（既設）

記　号	名　称 系統名	仕　様	動　力 電気	動　力 容量	台数	起動方式	設置場所	型　番	設置年
ACP-1-3	空気式空冷 パッケージ形空気調和機	型　式 ： シングル、天井吊形 備　考 ： 10.0 kW 風　量 ： 11.2 kW 備　考 ： 耐塩害仕様	3φ200V		1		1階 保健室	（屋外機） 日立：RAS-GP112RSH1 （屋内機） 日立：RAS-GP112K1	令和２年
ACP-1-2	空気式空冷 パッケージ形空気調和機	型　式 ： シングル、天井吊形 備　考 ： 5.6 kW 風　量 ： 6.3 kW 備　考 ： 耐塩害仕様	3φ200V		1		1階 校長室	（屋外機） 日立：RAS-GP63RSH1 （屋内機） 日立：RAS-GP63K1	令和２年
ACP-1-1	空気式空冷 パッケージ形空気調和機	型　式 ： ツイン、天井吊形 備　考 ： 20.0 kW 風　量 ： 22.4 kW 備　考 ： 耐塩害仕様	3φ200V		1		1階 職員室	（屋外機） 日立：RPC-AP224RSH3 （屋内機） 日立：RAS-GP112K1×2台	令和２年
ACP-2-1	空気式空冷 パッケージ形空気調和機	型　式 ： ツイン、天井吊形 備　考 ： 25.0 kW 風　量 ： 28.0 kW 備　考 ： 耐塩害仕様	3φ200V		1		2階 図書室	（屋外機） 日立：RAS-AP280RSH3 （屋内機） 日立：RPC-GP140K1×2台	令和２年
ACP-2-7	空気式空冷 パッケージ形空気調和機	型　式 ： シングル、天井吊形 備　考 ： 20.0 kW 風　量 ： 22.4 kW 備　考 ： 耐塩害仕様	3φ200V		1		2階 音楽室	（屋外機） 日立：RAS-GP224RSH （屋内機） 日立：RPC-GP224K3	令和２年
ACP-3-1	空気式空冷 パッケージ形空気調和機	型　式 ： トリプル、天井吊形 備　考 ： 25.0 kW 風　量 ： 28.0 kW 備　考 ： 耐塩害仕様	3φ200V		1		3階 視聴覚室	（屋外機） 日立：RAS-AP280RSH3 （屋内機） 日立：RPC-GP90K1×3台	令和２年
ACP-A	空気式空冷 パッケージ形空気調和機	型　式 ： シングル、天井吊形 備　考 ： 5.0 kW 風　量 ： 6.3 kW 備　考 ：	1φ200V		1		3階 PTA事務室	（屋外機） ﾀﾞｲｷﾝ：RZYP50BAV （屋内機） ﾀﾞｲｷﾝ：FHP50AL	不明 ※本工事

＊特記なき限り、他工事との取り合いによる空調屋内機、屋外機の取外再取付・移動等は別途工事とする。

換気機器表（新設）

記　号	名　称	仕　様	動　力 電気	動　力 容量	台数	起動方式	設置場所
FE-A	自動換気扇	型　式 ： 壁扇　φ250 備　考 ： 防火ダンパー付ウェザーカバー 風　量 ： 860 m³/h	1φ100V		5		1階 職員室 1階 保健室 3階 視聴覚室
FE-B	自動換気扇	型　式 ： 壁扇　φ250 備　考 ： ウェザーカバー 風　量 ： 860 m³/h	1φ100V		6		1階 職員室 1階 校長室 1階 保健室 3階 視聴覚準備室 3階 PTA事務室

換気機器表（撤去）

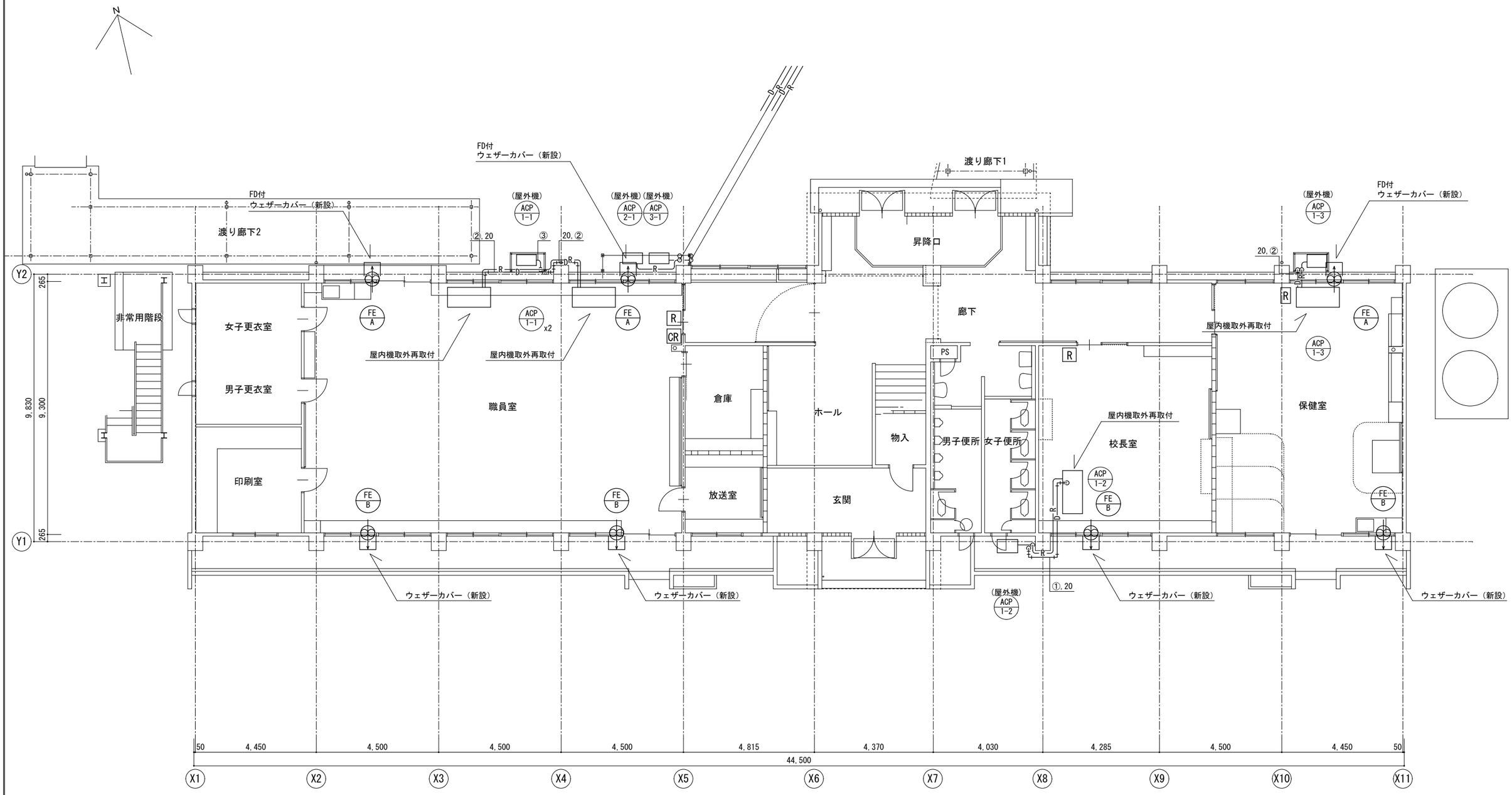
記　号	名　称	仕　様	動　力 電気	動　力 容量	台数	起動方式	設置場所
FE-A	自動換気扇	型　式 ： 壁扇　φ250 備　考 ： 防火ダンパー付ウェザーカバー	1φ100V		5		1階 職員室 1階 保健室 3階 視聴覚室
FE-B	自動換気扇	型　式 ： 壁扇　φ250 備　考 ： ウェザーカバー	1φ100V		6		1階 職員室 1階 校長室 1階 保健室 3階 視聴覚準備室 3階 PTA事務室

凡　　例

記　号	名　称	管　種	備　考
——R——	冷媒管	断熱材被覆銅管 JCDA 0009	屋内・屋外露出部は保温化粧ケース仕上げ（公共建築工事標準仕様） 屋内隠ぺい部はﾋﾞﾆﾙﾃｰﾌﾟ巻を適所に行う。
——D——	ドレン管	硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管 VP(JIS K 6741)	屋外露出部はカラーVP(相当品含む)とする。
——‖——	配管切断接続		
//////////	撤去範囲		
R	ワイヤードリモコン		
CR	集中リモコン		

〔 管理・特別教室棟 〕

設 計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名･建築士登録番号･氏名	図面名称・縮尺	図 番
令和5年2月							機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	空調機器表（既設） 換気機器表（新設・撤去） ー　(A3版-71%縮小)	M-17

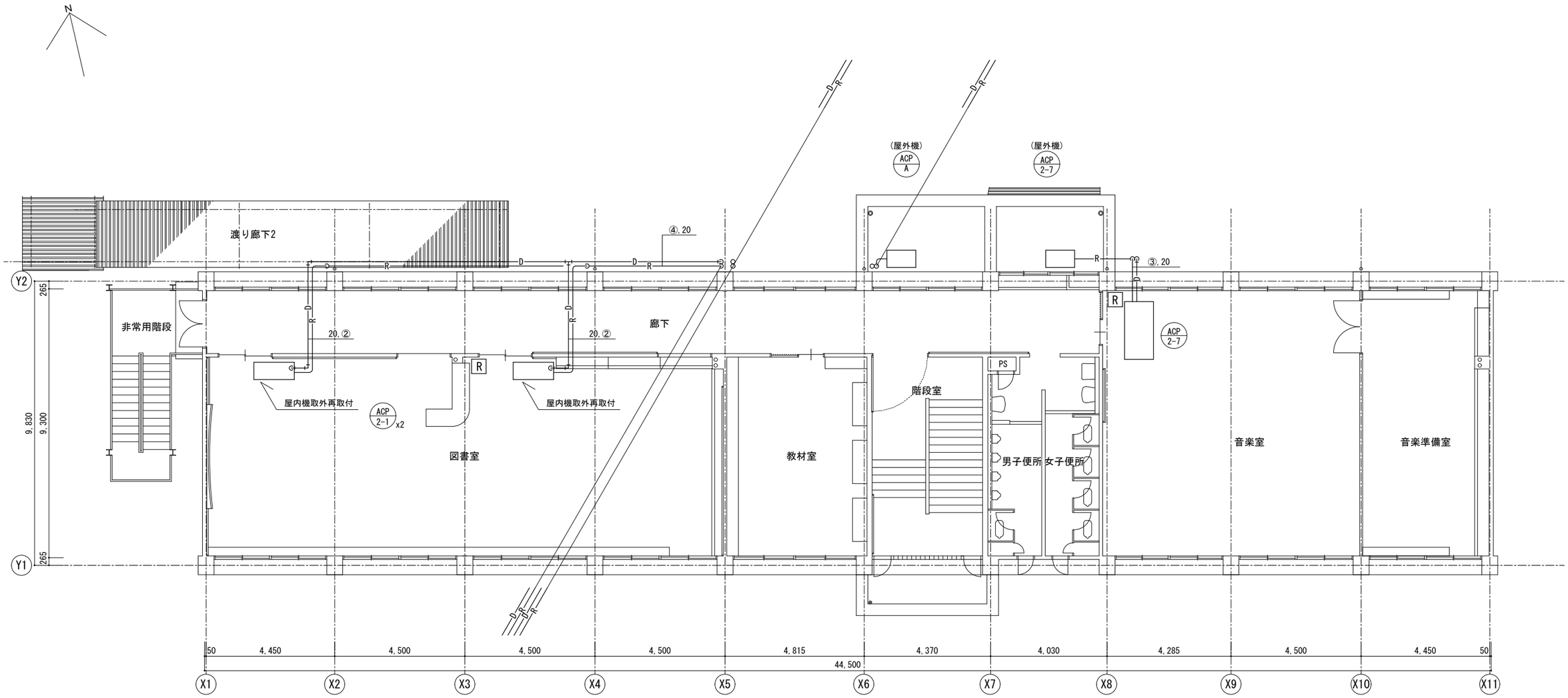


1階平面図　S=1/100

記号	冷媒配管径（参考）
①	φ6.4+φ12.7
②	φ9.5+φ15.9
③	φ9.5+φ25.4
④	φ12.7+φ25.4

〔 管理・特別教室棟 〕

設 計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月							機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	空気調和設備・換気設備 １階平面図（改修後）	M-18

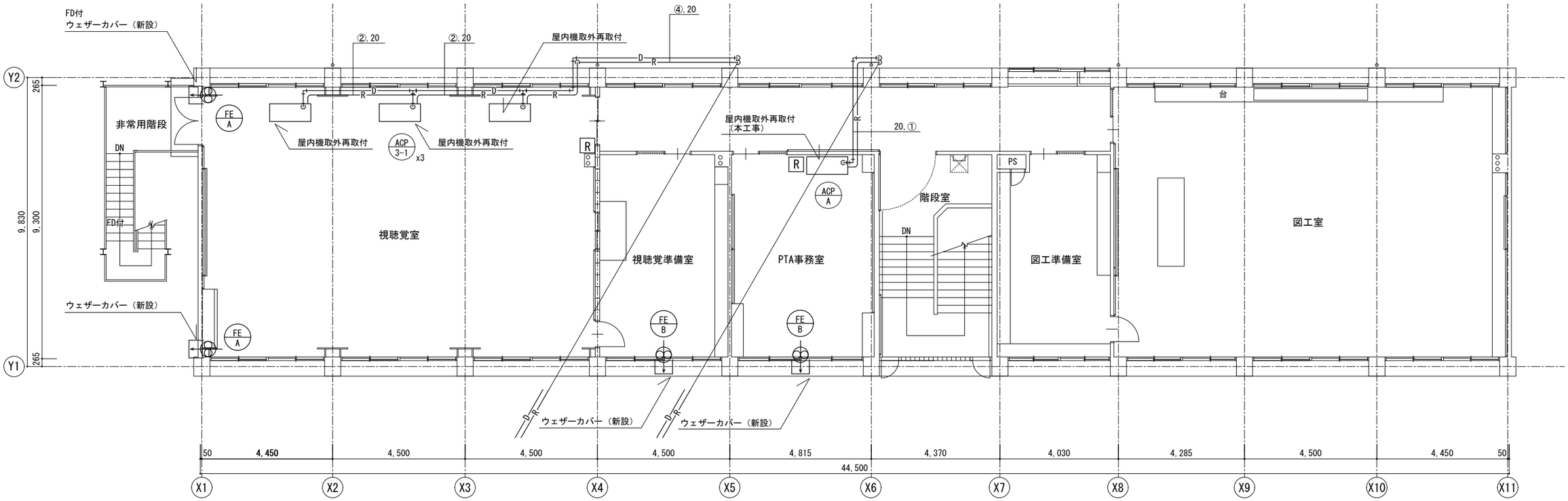


2階平面図　S=1/100

記号	冷媒配管径（参考）
①	φ6.4+φ12.7
②	φ9.5+φ15.9
③	φ9.5+φ25.4
④	φ12.7+φ25.4

〔 管理・特別教室棟 〕

設 計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名･建築士登録番号･氏名	図面名称・縮尺　S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月							機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	空気調和設備・換気設備 ２階平面図（改修後）	M-19

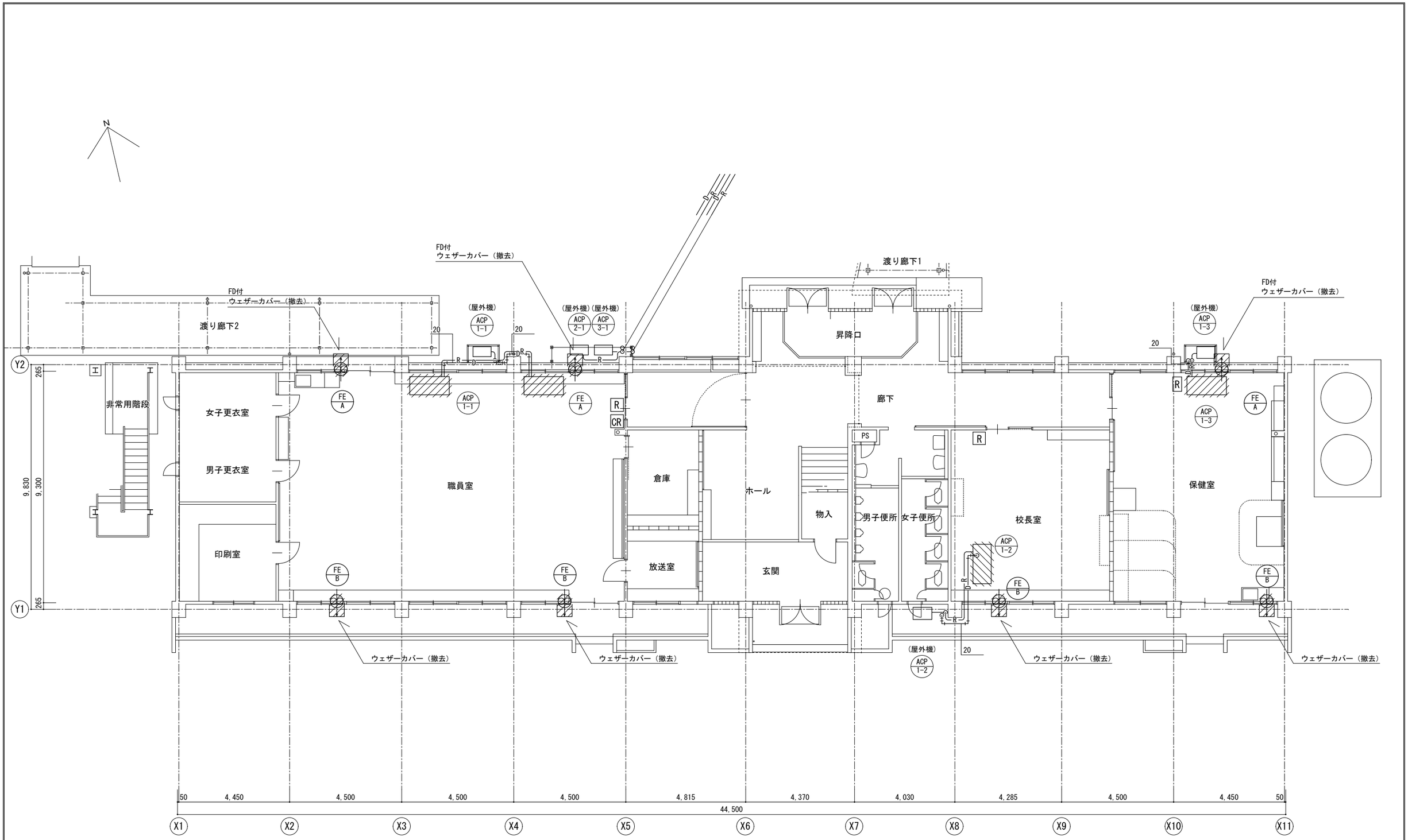


3階平面図　S=1/100

記号	冷媒配管径（参考）
①	φ6.4+φ12.7
②	φ9.5+φ15.9
③	φ9.5+φ25.4
④	φ12.7+φ25.4

〔 管理・特別教室棟 〕

設 計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名･建築士登録番号･氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月							機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社 ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	空気調和設備・換気設備 ３階平面図（改修後）	M-20



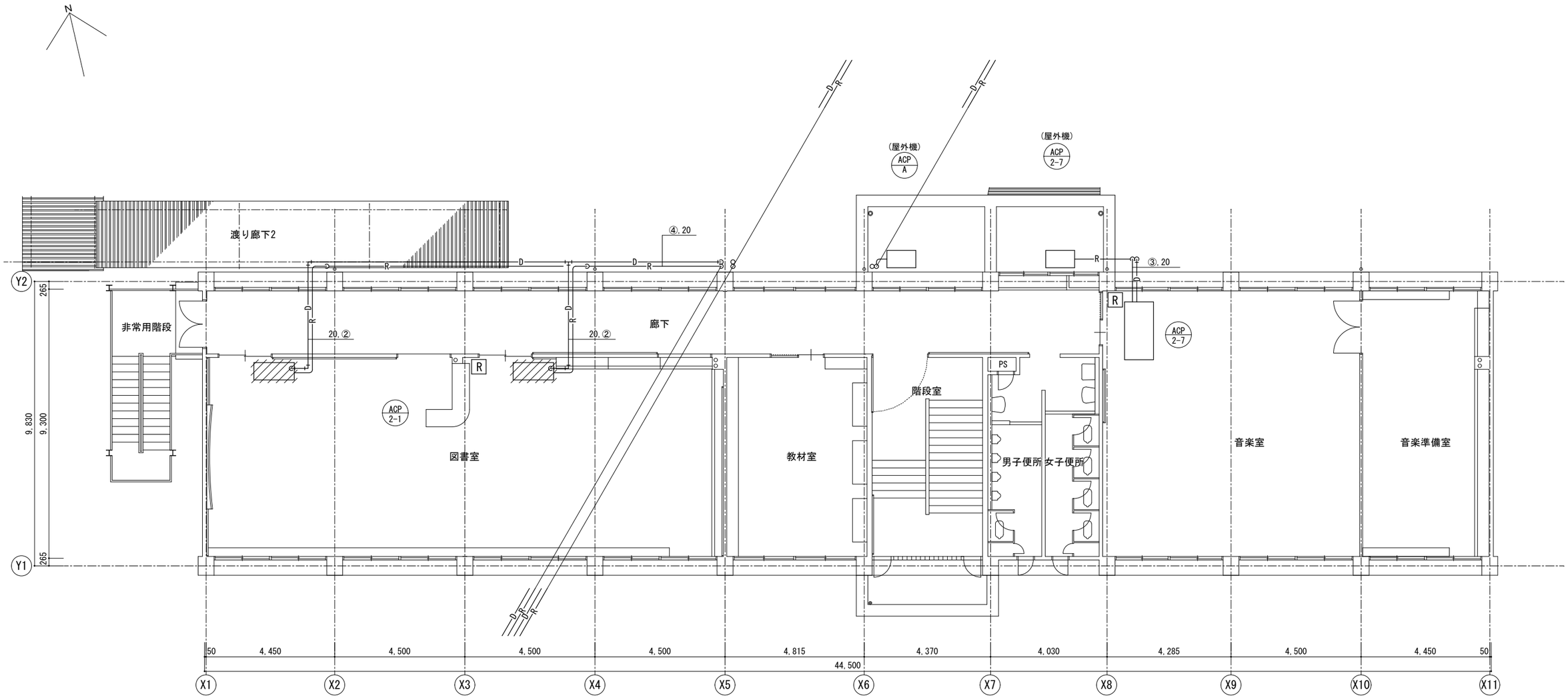
1階平面図　S=1/100

記号	冷媒配管径（参考）
①	φ6.4+φ12.7
②	φ9.5+φ15.9
③	φ9.5+φ25.4
④	φ12.7+φ25.4

建築内部改修工事に伴い、空調屋内機取外取付は別途工事とする

〔 管理・特別教室棟 〕

設計	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図番
令和5年2月 三原市都市部建築課						機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社 ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録 第198542号 美野 健治 印	空気調和設備・換気設備 1階平面図（改修前）	M-21



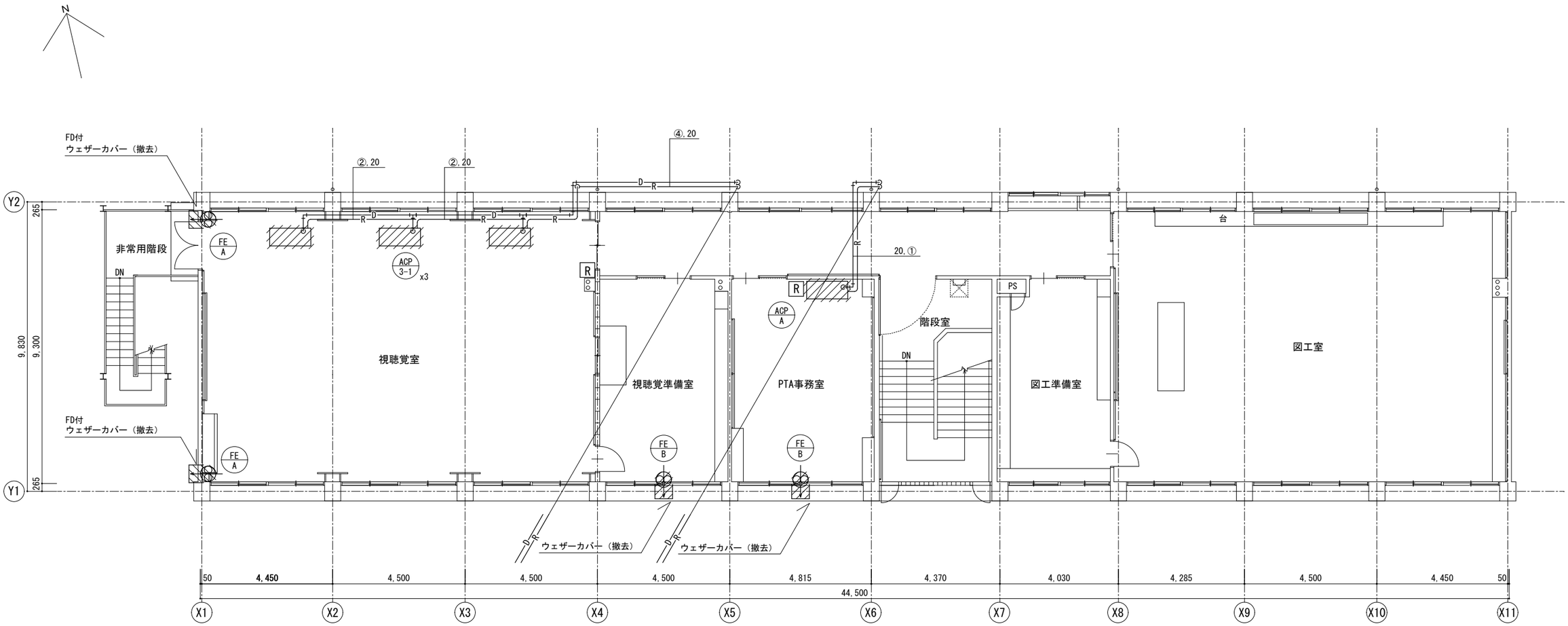
2階平面図　S=1/100

記号	冷媒配管径（参考）
①	φ6.4+φ12.7
②	φ9.5+φ15.9
③	φ9.5+φ25.4
④	φ12.7+φ25.4

建築内部改修工事に伴い、空調屋内機取外取付は別途工事とする

〔 管理・特別教室棟 〕

設 計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名･建築士登録番号･氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月							機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	空気調和設備・換気設備 ２階平面図（改修前）	M-22



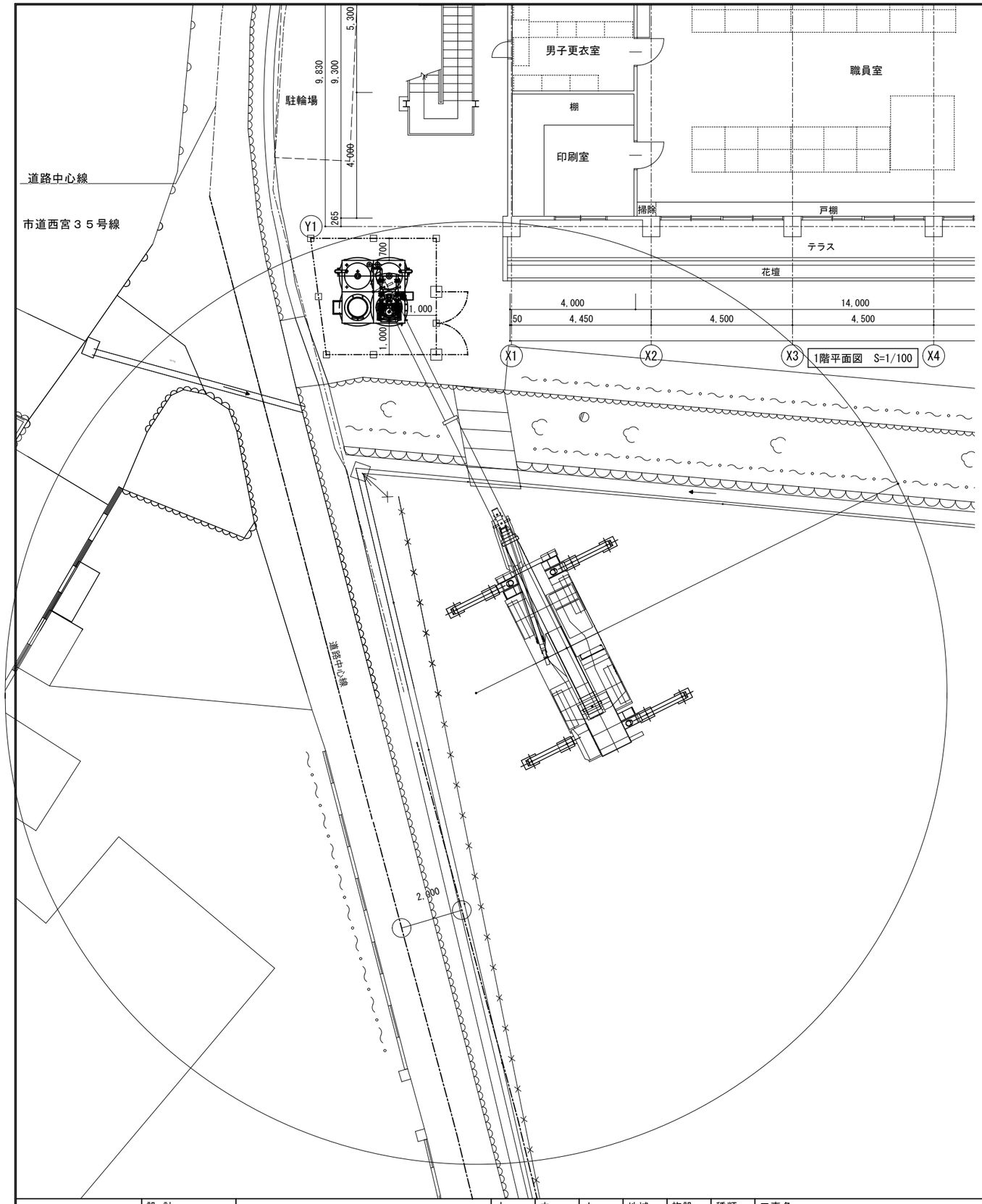
3階平面図　S=1/100

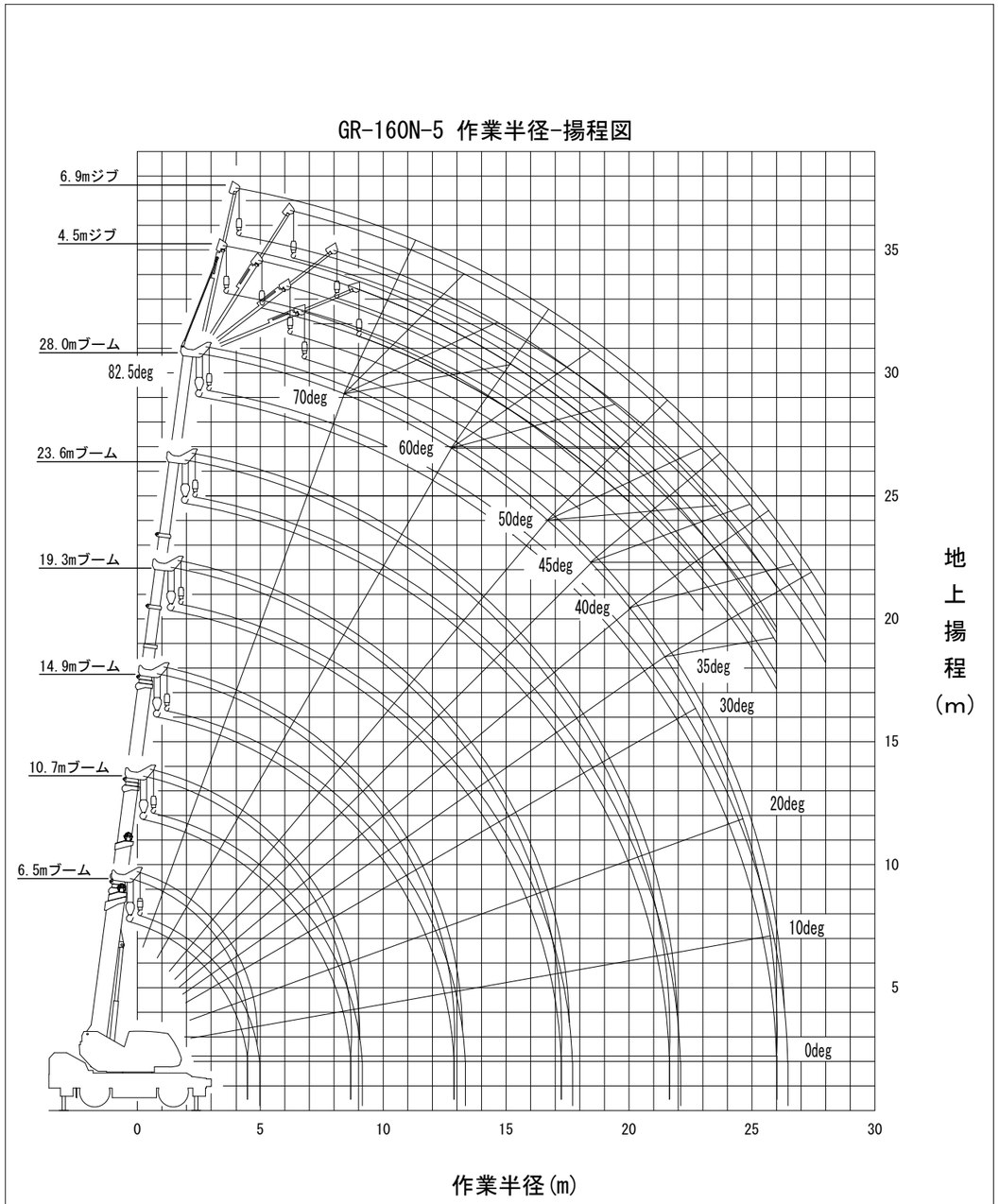
記号	冷媒配管径（参考）
①	φ6.4+φ12.7
②	φ9.5+φ15.9
③	φ9.5+φ25.4
④	φ12.7+φ25.4

建築内部改修工事に伴い、空調屋内機取外取付は別途工事とする

〔 管理・特別教室棟 〕

設 計	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類	工事名	事務所名・建築士登録番号・氏名	図面名称・縮尺 S=1/100 (A3版-71%縮小)	図 番
令和5年2月							機械	西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	空気調和設備・換気設備 ３階平面図（改修前）	M-23





注意

◆ 上図は，ジブのたわみを含んでいません。

◆ 上図は，アウトリガ最大(5.2m)張出状態での図です。

〔 管理・特別教室棟 〕

	設 計 令和5年2月	三原市都市部建築課	大	中	小	地域	施設	種類 機械	工事名 西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）	事務所名･建築士登録番号･氏名 有限会社　ＭａｓＭａｓ 一級建築士登録　第198542号 美野　健治　印	図面名称・縮尺　S=1/100　(A3版-71%縮小) 揚重計画図	図 番 M-24

参　考　数　量　書

工 事 名 称　　西小学校長寿命化改修工事（機械設備工事）

［工 事 概 要］　　三原市西宮二丁目

用 途 , 構 造 , 面 積	
工　事　範　囲	機械設備工事
別　途　工　事	建築主体工事、電気設備工事
工　　期	契約締結日の翌日から　令和　８年２月２６日までを工期とする.
一　般　事　項	

《工事予算内訳》　設 計 金 額　￥　　（税込み）

〈内　訳〉

区　　分	金　　額	摘　　要
工　事　価　格		
消　費　税　額		
設　計　金　額		

工事費内訳

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
直接工事費				
機械設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 ％
工事費	1	式		

工事種別内訳

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
機械設備工事	1	式		
計				

機械設備工事　種目別内訳

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
西小学校	1	式		
計				

機械設備工事　科目別内訳

西小学校

名　　称	数　　量	単 位	金　　額	備　　考
空気調和設備	1	式		
換気設備	1	式		
給水設備	1	式		
排水設備	1	式		
給湯設備	1	式		
撤去工事	1	式		
発生材処理	1	式		
計				

機械設備工事　中科目別内訳

西小学校

科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
空気調和設備	機器設備	1	式		
計					
換気設備	機器設備	1	式		
計					
給水設備		1	式		
給水設備	仮設工事	1	式		
計					
排水設備		1	式		
計					
給湯設備		1	式		
計					
撤去工事		1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

機械設備工事　細目別内訳

西小学校	空気調和設備			機器設備		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ACP-A 屋内機取外再取付	天吊形　冷5.6kW	1	台			
計						

機械設備工事　細目別内訳

西小学校	換気設備			機器設備		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
FE-A　換気扇	壁付換気扇　860m3/h　250φ	5	台			
FE-B　換気扇	壁付換気扇　860m3/h　250φ	6	台			
ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ	防火ダンパー付　指定色	5	個			
ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ	指定色	6	個			
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0001
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下　　－	275.8	㎡			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	3階建	275.8	㎡			
室内養生	シート養生	275.8	㎡			
計						

機械設備工事　細目別内訳

西小学校　　給水設備

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
TWP-1 受水槽,加圧給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ(一体型)	SUS製パネルタンク 容量5.3m3 80L/min*20m*1.1kW 自動交互運転	1	組			
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0002
架台類		1	式			別紙 00-0003
ねずみ鋳鉄仕切弁	5K(ﾌﾗﾝｼﾞ)　65A(外ねじ)	1	個			
横水栓	F 4　　－　　13A	23	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　　20A	2	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ	ﾍﾞﾛｰｽﾞ形　　40A	2	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ)　20A	5	個			
青銅仕切弁	10K(ねじ)　40A	2	個			
仕切弁 (管端防食ｺｱ)	5K(ねじ･給水用) 40A	2	個			
止水栓類	緩速装置付ﾎﾞｰﾙ止水栓 40φ	1	個			
Y形ｽﾄﾚｰﾅｰ	10K　40A	1	個			
Y形ｽﾄﾚｰﾅｰ	10K　20A	1	個			
電磁弁	20A	1	個			
防振継手	合成ｺﾞﾑ製　40A	3	個			

機械設備工事　細目別内訳

西小学校　　給水設備

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
定水位弁	40A	1	個			
ﾎﾞｰﾙﾀｯﾌﾟ	20A	2	個			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 65A	1	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 40A	62	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VB)改修	ねじ接合　屋内一般 20A	12	m			
給水・塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(SGP-VD)改修	ねじ接合　地中配管 40A	7	m			
保温		1	式			別紙 00-0004
土工事		1	式			別紙 00-0005
ﾗﾌﾃﾚｰﾝｸﾚｰﾝ運転(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)	16t吊り　ｵﾍﾟﾚｰﾀ付き　賃料 標準	1	日			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	2mm2-　3C 管内	3	m			
EM-CEEｹｰﾌﾞﾙ	2mm2-　5C 管内	5	m			
厚鋼電線管(G)	露出配管(塗装有) 16mm	8	m			
ﾌﾟﾙﾎﾞｯｸｽSS形防水(SUS)	0.2㎡未満/個	0.42	㎡			
水位制御用電極棒取付	5P　取付費 電極は受水槽付属品	2	個			
計						

機械設備工事　細目別内訳

西小学校	給水設備	仮設工事				
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
ﾎﾞｰﾙﾀｯﾌﾟ	40A	1	個			
ボールタップ撤去	40A	1	個			
青銅仕切弁撤去	10K(ねじ)　40A	1	個			
水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管	軟質管・金属製継手接合 40A	56	m			
水道用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 撤去	軟質管・金属製継手接合 40A	56	m			
土工事	仮設	1	式			別紙 00-0006
土工事	仮設撤去	1	式			別紙 00-0007
保温		1	式			別紙 00-0008
計						

機械設備工事　細目別内訳

西小学校　　排水設備

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
仕切弁 (管端防食ｺｱ)	5K(ねじ･給水用) 40A	2	個			
配管用防虫網	65A	2	個			
間接排水口	65A	2	個			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　　65A	9	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)	屋内一般　　40A	5	m			
計						

機械設備工事　細目別内訳

西小学校　　給湯設備

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
WHG-1 ｶﾞｽ瞬間湯沸器	5号元止め式	1	台			
WHG-2 ｶﾞｽ瞬間湯沸器	5号先止め式	1	台			
WHG-3 ｶﾞｽ瞬間湯沸器	20号　屋外壁掛型	1	台			
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0009
計						

機械設備工事　細目別内訳

西小学校　　撤去工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
FE-A　換気扇撤去	壁付換気扇　250φ	11	台			
ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ撤去	25cm用	11	個			
WHT-1　高置水槽 撤去	FRP製　容量3.0m3	1	基			
WP-1,2 揚水ﾎﾟﾝﾌﾟ撤去	1.5kW	2	基			
GV65撤去	JIS5k	1	個			
横水栓撤去	13-F4	23	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ 撤去	65A*300L	1	個			
ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙｼﾞｮｲﾝﾄ 撤去	40A*300L	1	個			
給水・塩ﾋﾞ ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 (SGP-VB)撤去	ねじ接合　　屋内一般 65A	6	m			
給水・塩ﾋﾞ ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 (SGP-VB)撤去	ねじ接合　　屋内一般 40A	15	m			
給水・塩ﾋﾞ ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管 (SGP-VB)撤去	ねじ接合　　地中配管 40A	5	m			
保温撤去		1	式			別紙 00-0010
土工事	給水撤去	1	式			別紙 00-0011
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)撤去	地中配管　　50A	3	m			
排水・硬質ﾎﾟﾘ 塩化ﾋﾞﾆﾙ管 (VP)撤去	屋内一般　　100A	6	m			

機械設備工事　細目別内訳

西小学校　　撤去工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
排水・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)撤去	屋内一般　　50A	2	m			
土工事	排水撤去	1	式			別紙 00-0012
WHG-1,2 ｶﾞｽ瞬間湯沸器撤去	5号	2	台			
WHG-3 ｶﾞｽ瞬間湯沸器撤去	20号　屋外壁掛型	1	台			
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0013
計						

機械設備工事　細目別内訳

西小学校　　発生材処理

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 － DID区間有り 24.0km以下	1	台			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 木材類 DID区間有り 24.0km以下	0.6	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　2t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.13m3 石こうﾎﾞｰﾄﾞ類 DID区間有り 24.0km以下	0.1	m3			
とりこわし 発生材運搬	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ　4t積級 ﾊﾞｯｸﾎｳ0.28m3 － DID区間有り 27.0km以下	1	台			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	鉄　H2	0.3	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	故銑	0.1	t			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	ステンレス	35	kg			
ｽｸﾗｯﾌﾟ	下銅	10.1	kg			
発生材処分	廃プラ	0.6	m3			
発生材処分	ｶﾞﾗｽ･陶磁器くず	0.1	m3			
発生材処分	発生土	1.7	m3			
計						

機械設備工事　別紙明細

西小学校	換気設備			機器設備		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0001
換気扇 据付	250φ以下	11	台			
ｳｪｻﾞｰｶﾊﾞｰ据付		11	個			
計						

機械設備工事　別紙明細

西小学校　　給水設備

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0002
TWP-1 加圧給水 ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄ据付	SUS製パネルタンク 容量5.3m3 80L/min*20m*1.1kW 自動交互運転	1	基			
TWP-1　ポンプ室 付受水槽据付	SUS製パネルタンク　2.0*2.0*2.0 容量5.3m3	1	基			
搬入費 (揚重機除く)	複数搬入 200kg/m3未満	1	t			
搬入費 (揚重機除く)	複数搬入 500kg/m3未満	0.1	t			
計						
架台類		1	式			別紙 00-0003
L-75*75*6	6.85kg/m　16.2m	111	kg			
硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ 管(VU)	100A	3.6	m			
ｺﾝｸﾘｰﾄ	生ｺﾝ人力打設	1.2	m3			
鉄骨運搬	6t車	0.1	t			
軽量鉄骨加工 ・組立	母屋.胴縁の類 一 般 普通ﾎﾞﾙﾄ締共	0.1	t			
計						

機械設備工事　別紙明細

西小学校　　給水設備

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
保温		1	式			別紙 00-0004
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 65A	1	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 40A	62	m			
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 20A	12	m			
計						
土工事		1	式			別紙 00-0005
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	1.2	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.5	m3			
山砂		0.7	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
計						

機械設備工事　別紙明細

西小学校	給水設備			仮設工事		
名　称	摘　要	数　量	単 位	単　価	金　額	備　考
土工事	仮設	1	式			別紙 00-0006
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.1	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.1	m3			
山砂		0.1	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
計						
土工事	仮設撤去	1	式			別紙 00-0007
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.1	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.1	m3			
山砂		0.1	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
計						

機械設備工事　別紙明細

西小学校	給水設備			仮設工事		
名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
保温		1	式			別紙 00-0008
給水管 保温	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 40A	5	m			
計						

機械設備工事　別紙明細

西小学校　　給湯設備

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0009
瞬間湯沸器　据付	給湯専用壁掛形　5号	2	台			
瞬間湯沸器　据付	給湯専用壁掛形 20号	1	台			
計						

機械設備工事　別紙明細

西小学校　　撤去工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
保温撤去		1	式			別紙 00-0010
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 65A 再使用しない	6	m			
給水管 保温撤去	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 屋外露出,浴室 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 40A 再使用しない	15	m			
計						
土工事	給水撤去	1	式			別紙 00-0011
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.8	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.3	m3			
山砂		0.5	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
計						

機械設備工事　別紙明細

西小学校　　撤去工事

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
土工事	排水撤去	1	式			別紙 00-0012
根切り(機械)	ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.7	m3			
埋戻し	機 械 ﾊﾞｯｸﾎｳ 0.13m3 排出ｶﾞｽ対策型 油圧式ｸﾛｰﾗ型	0.4	m3			
山砂		0.3	m3			
土工機械運搬	根切り、埋戻し(小規模土工) -	1	往復			
計						
搬入・据付費		1	式			別紙 00-0013
搬出費 (揚重機除く) (撤去用)	複数搬出 100kg/m3未満	0.2	t			
計						

共通仮設費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
アスベスト含有試験（定性）		3	か所			
アスベスト含有試験（定量）		3	か所			
計						

現場管理費(積上)　明細

名　　称	摘　　要	数　　量	単 位	単　　価	金　　額	備　　考
工事中情報共有システム利用料		1	式			
計						